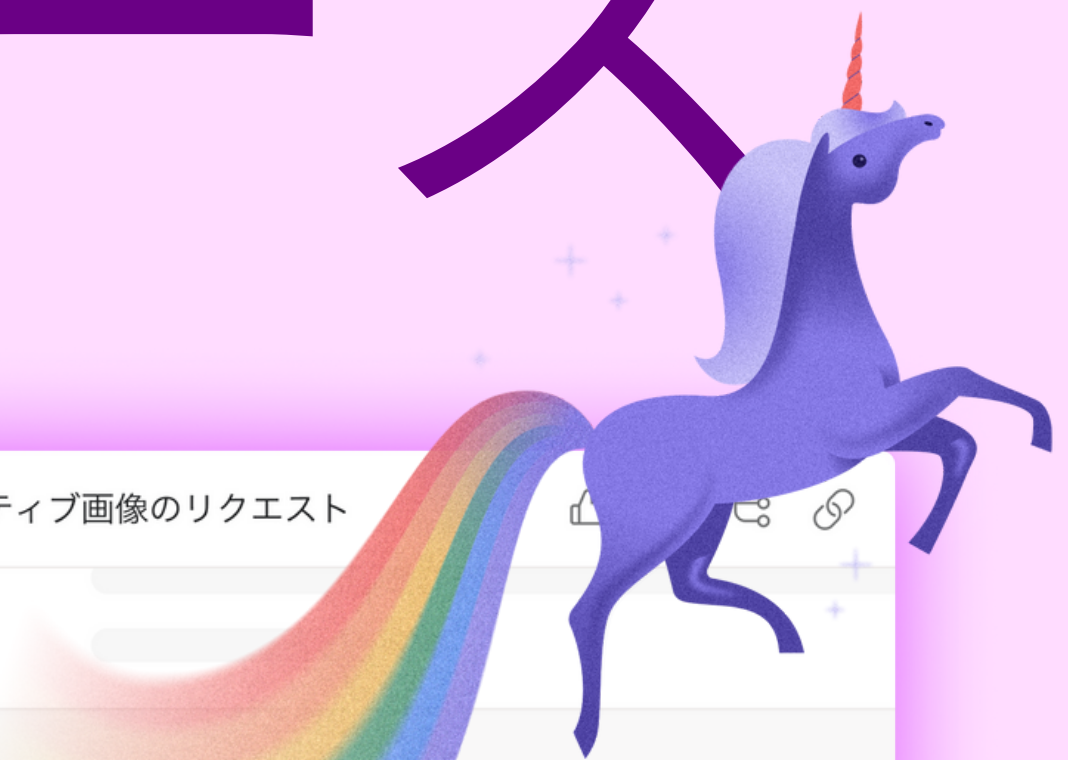
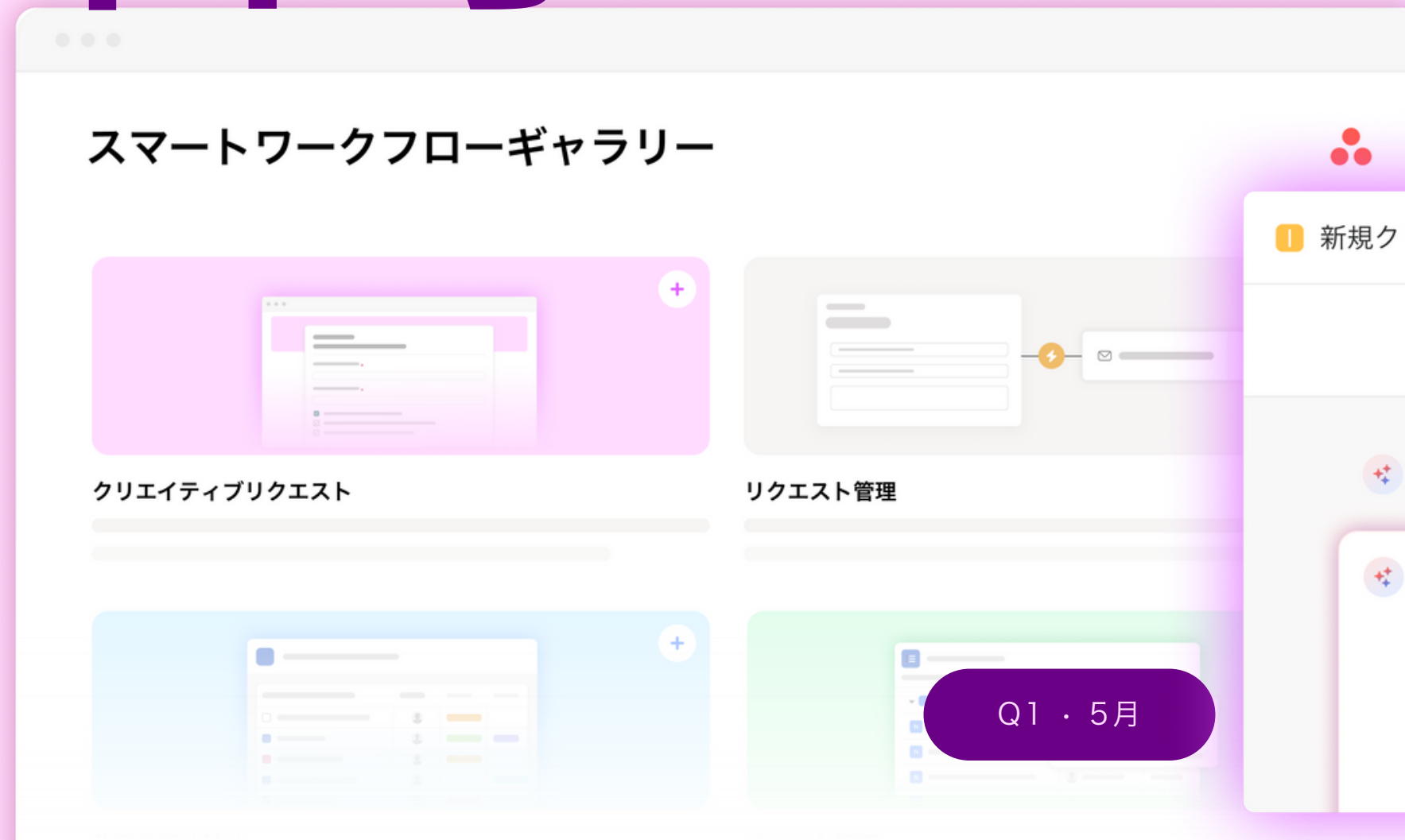


2025年 春季リリース



表示 ↓	プロジェクトマネジメント
表示 ↓	Asana AI
表示 ↓	リクエスト管理
表示 ↓	ビジネスレビューとレポート
表示 ↓	連携機能
表示 ↓	戦略プランニングとポートフォリオ管理
表示 ↓	チームのオンボーディングと能力開発
表示 ↓	企業向けのセキュリティとコントロール

2025年春季リリース

プロジェクト マネジメント



プロジェクトマネジメント

[詳しく見る →](#)

- ✓ **スマートワークフローギャラリー**
事前構築された AI ワークフローですばやく仕事に着手
- ✓ **事前構築された AI ルール**
事前構築された AI ルールを数クリックで適用、ステップを自動化
- ✓ **ルールのアクティビティログ**
ワークフローのパフォーマンスをモニタリングし、問題を解決
- ✓ **ルールの一括手動実行**
手動で複数のオートメーションを同時にトリガーしてコントロールを強化する
- ✓ **スクリプトアクション**
ルールで強力なカスタムオートメーションを構築
- ✓ **依存タスクの自動調整機能を改善**
下流の依存関係を適切に調整し、最新のスケジュールを維持



2023 Annual Planning

Overview **List** Board Timeline Calendar Gantt

▼ In progress

✓ Map strategic questions	Wednesday	Operations
✓ Analyze 2022 performance	Friday	Analytics
✓ Schedule kickoff	Sept 8	Operations

▼ Complete

スマートワークフローギャラリーの構築済み AI ワークフローですばやく仕事に着手

[リソース →](#)



概要

事前構築された AI ワークフローをチームに合わせてカスタマイズすることで、ベストプラクティスを標準化し、すばやく作業を進めましょう。チケット管理、リクエスト管理、クリエイティブリクエスト、仕事の受け付けに便利なスマートワークフローは、すでに利用可能です。さらに 7月末までに、主要チーム向けの追加ワークフローが順次公開されます。



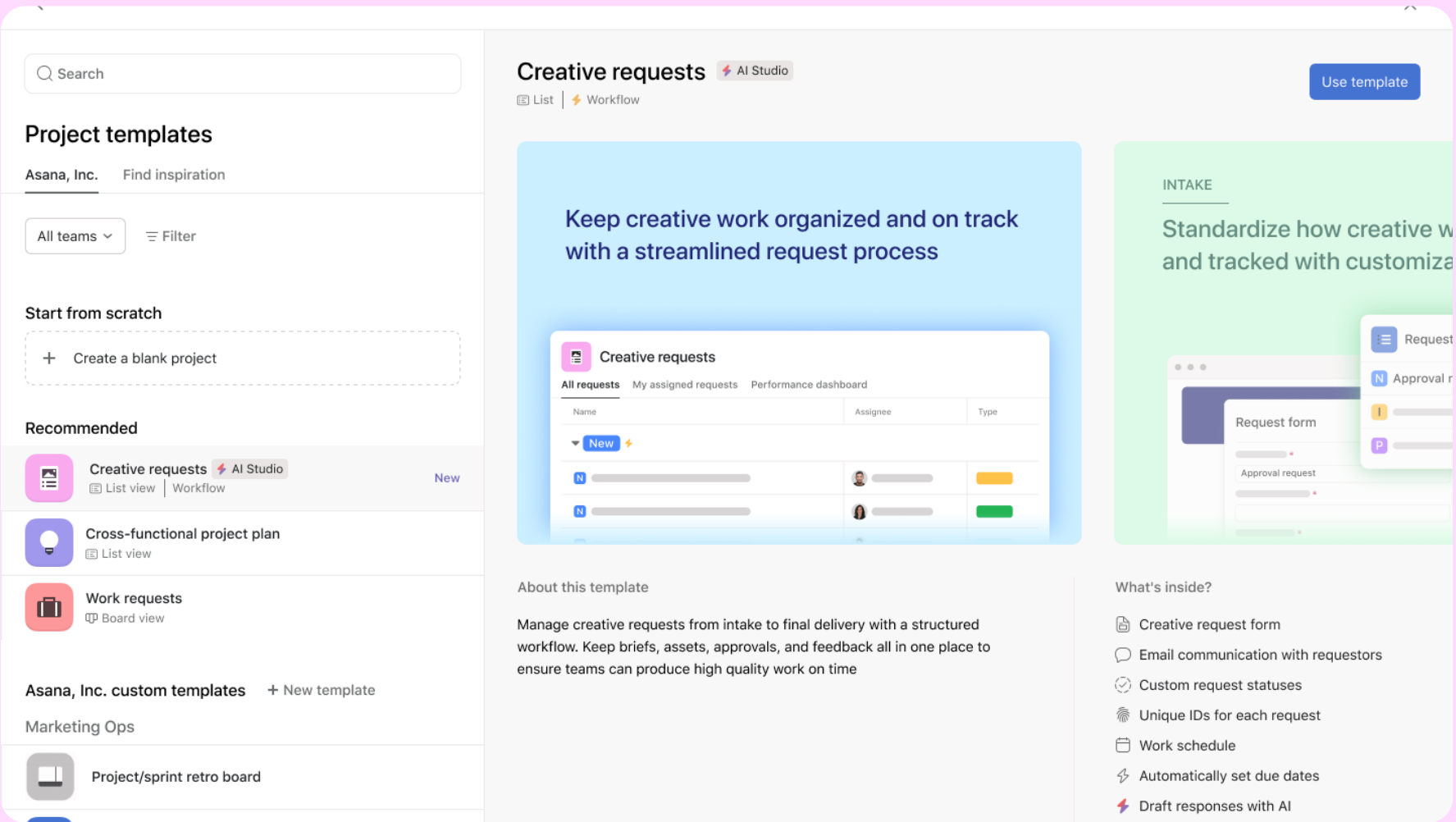
主なメリット

- 事前構築されたテンプレートで、すばやくワークフローを開始
- チームのニーズに合わせてワークフローをカスタマイズ可能
- 人間と AI によるスムーズなコラボレーションにより作業効率が向上



主なユースケース

- リクエスト管理
- チケット管理
- クリエイティブリクエスト
- 仕事の受け付け



機能の使い方

プロジェクトギャラリーからスマートワークフローテンプレートを選択し、「カスタマイズ」メニューのガイダンスに従ってセットアップします。

構築済み AI ルールを数クリックで展開

[リソース →](#)



概要

構築済み AI ルールをルールライブラリから選択し、名前の変更や要約の作成、優先度の決定などに活用することで、作業効率がアップします。AI ルールは AI スタジオでワークフローに合わせてカスタマイズできます。



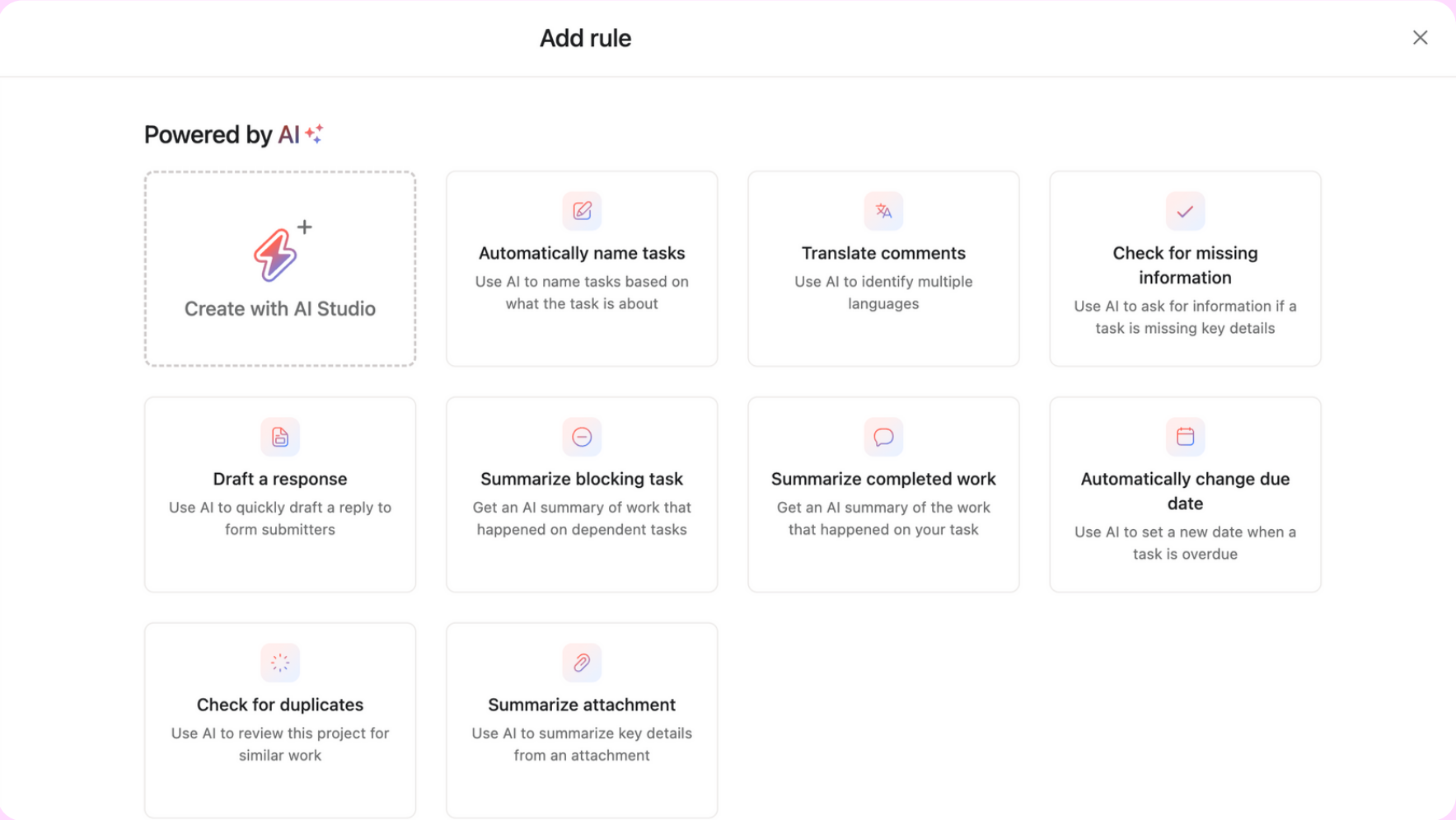
主なメリット

- 一般的なワークフローには構築済み AI ルールを使うことで時間を節約
- チームに合わせたオートメーションでプロセスを強化
- AI への指示を編集してルールをカスタマイズし、ワークフローをより細かくコントロール



主なユースケース

- リクエスト管理
- 製品リリース
- クリエイティブリクエスト
- 仕事の受け付け



機能の使い方

ギャラリーから構築済み AI ルールを選択し、プロジェクトに追加したら、ワークフローに合わせて AI への指示をカスタマイズします。

ルールのアクティビティログを使用して、ワークフローのパフォーマンスをモニタリングし、問題を解決する

[リソース →](#)



概要

ルールの実行履歴を使用して、オートメーションのパフォーマンスをモニタリングし、改善します。ルールの実行履歴とは、一元管理されたログのことで、アクティビティを追跡し、エラーの解決をアシストし、AI によるワークフローを含む、ルールの最適化をサポートします。



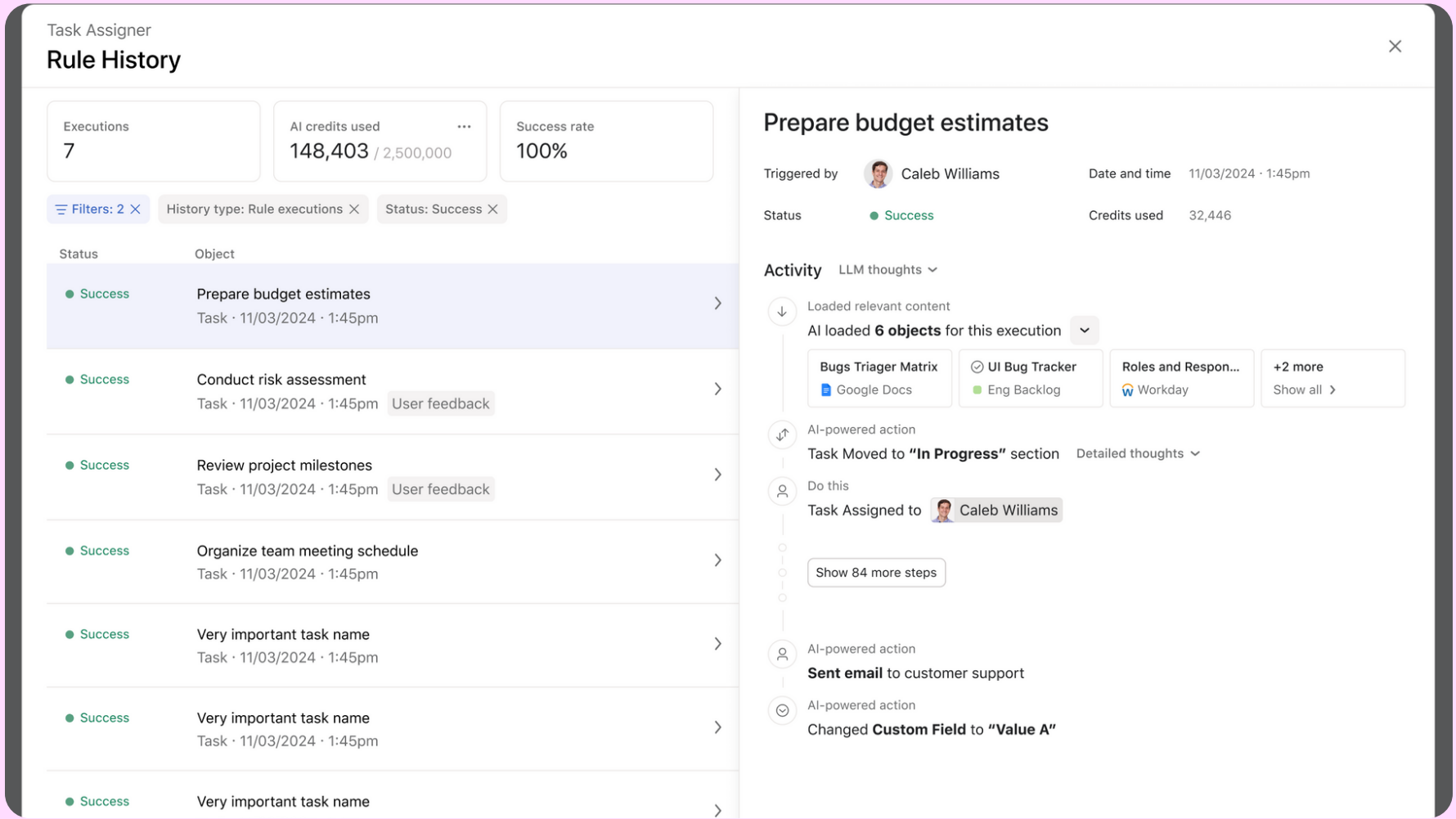
主なメリット

- 実行されたルールとアクションを確認することで、問題を迅速に解決する
- 組織全体のオートメーションアクティビティを明確にすることで、ガバナンスを強化する



主なユースケース

- オートメーションワークフローのトラブルシューティング
- ルール実行の監査



機能の使い方

ルールを編集し、ルールビルダーの上部にある「ルールの履歴を表示」リンクをクリックすると、ルールの履歴にアクセスできます。ルールの履歴には、ステータス、時間、影響を受けたタスク、実行されたアクションなど、実行されたルールの詳細なログが表示されます。

手動で複数のオートメーションを同時にトリガーして コントロールを強化する

[リソース →](#)



概要

リストビューの一括タスクバーから、手動でトリガーするルールを同時に複数のタスクに対して実行できるため、オートメーションアクションを簡単に、かつ同時に複数のタスクに適用できます。



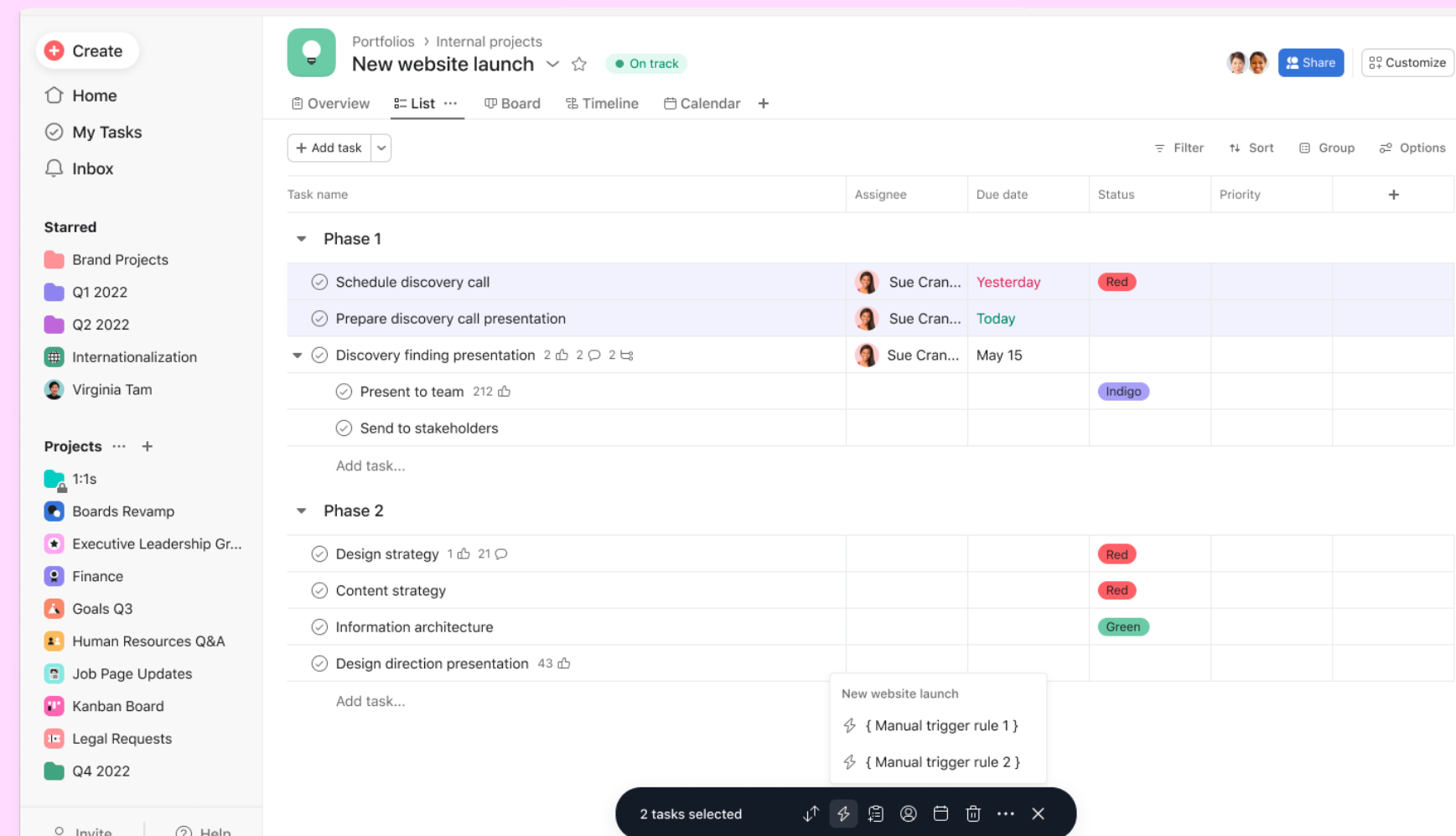
主なメリット

- ルールアクションを一度に 1 件ではなく、最大 50 件のタスクに適用できるため、時間を大幅に節約できる
- 効率的なバッチ処理の自動化で、繰り返し作業の数を削減できる
- ルールを、必要なときに、手動で有効にすることで、コントロールを維持する



主なユースケース

- プロジェクトマネジメント
- 戦略プランニング
- 仕事の受け付け



機能の使い方

リストビューのタスクを複数個選択し、一括タスクバーのルールアイコンをクリックして、選択したすべてのタスクに適用する手動ルールトリガーを選択します。

ルールのスクリプトアクションで強力なカスタムオートメーションを構築

リソース →



概要

Asana 上でコードを直接記述し、実行できるスクリプトアクションを使ってカスタムオートメーションを構築することで、外部ホスティングなしでワークフローをより細かくカスタマイズできます。



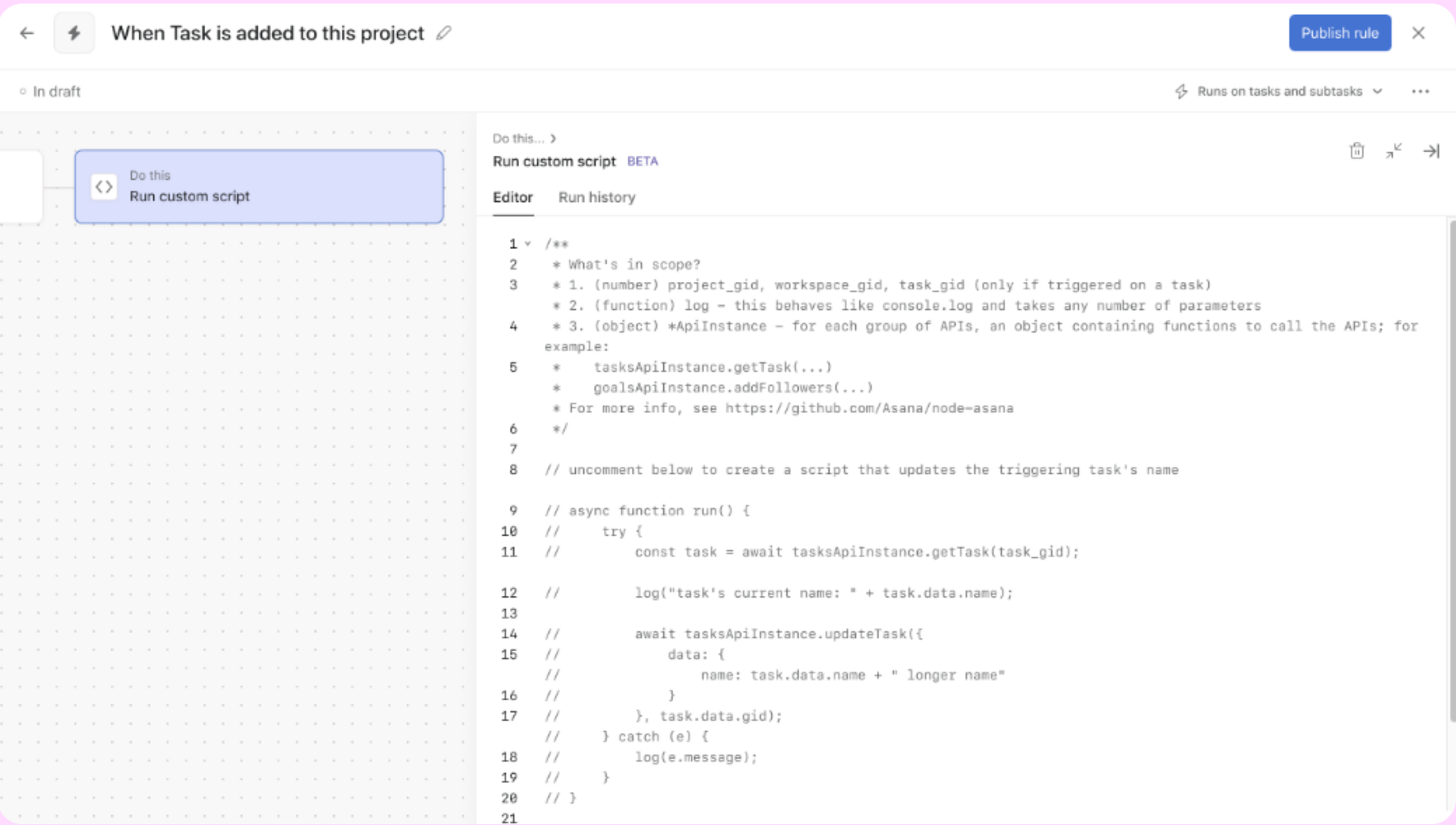
主なメリット

- 外部サービスを使わずに、Asana 上でカスタムオートメーションを実行して時間を節約
- Asana API を使ったカスタムスクリプトで柔軟性を向上
- ユーザーごとのアクション設定と自動トークン管理でセキュリティを確保



主なユースケース

- カスタムワークフローの自動化
- プロジェクト間のデータ同期
- 高度なレポートや通知の作成



機能の使い方

ルールビルダーで「カスタムスクリプトを実行」を選び、Asana API と連携する Node.js コードを記述します。アクセスを許可すると、ルールのトリガー時にスクリプトが自動で実行されます。

下流の依存関係を適切に調整し最新のスケジュールを維持

リソース →



概要

依存関係の自動調整機能が改善され、以前よりも効率的にタイムラインを管理できるようになりました。下流のタスクのみが更新され、すべてのプロジェクトビューで機能します。モーダルの設定もシンプルになりました。



主なメリット

- 影響を受ける下流のタスクのみが自動で調整され、時間を節約
- すべてのビューで依存関係の動作が一貫しているため、プロジェクトをスムーズに進行可能
- ワークフローを離れずに、依存関係の設定を簡単に調整



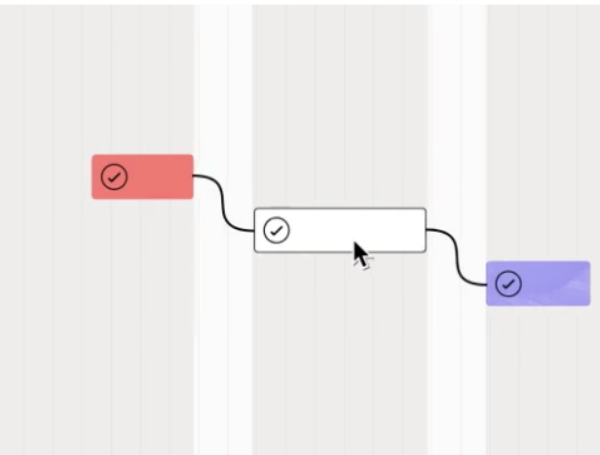
主なユースケース

- プロジェクトマネジメント
- タイムライン計画
- 部門横断的な仕事の調整

Dependency date shifting

Select how dates shift for tasks with dependencies in this project. For more visit [Asana's dependencies guide](#).

- ☒ **Maintain buffer**
Maintain the amount of time between dependent tasks.
- ☐ **Consume buffer**
Consume the amount of time between dependent tasks unless there's a conflict.
- ☐ **None**
Ignore the amount of time between dependent tasks, even if there's a conflict.



Update project settings to manage how due dates are set for tasks with dependencies.

Project settings

機能の使い方

プロジェクトビューでタスクの日付を変更する際に、プロジェクト設定で「バッファを維持する」が選択されていると、下流の依存するタスクの日付のみが調整されます。この設定は、日付変更モーダルから直接変更できます。

2025年春季リリース

Asana AI





Asana AI

[リソース →](#)

- ✓ **スマートワークフローギャラリー**
事前構築された AI ワークフローですばやく仕事に着手
- ✓ **事前構築された AI ルール**
事前構築された AI ルールを数クリックで適用、ステップを自動化
- ✓ **文書の読み取り**
文書を読み取り、分析する AI の力で、より優れたオートメーションを構築し、コンテキストをより深く把握
- ✓ **ウェブ検索とウェブリンクの読み取り**
AI によるウェブ検索とリンク読み取りでリアルタイムの情報にアクセス
- ✓ **ゴール、ポートフォリオ、ワークロードの参照**
チームの仕事と AI をつなぎ、より多くの雑務を任せる



スマートワークフローギャラリーの構築済み AI ワークフローですばやく仕事に着手

[リソース →](#)

概要

事前構築された AI ワークフローをチームに合わせてカスタマイズすることで、ベストプラクティスを標準化し、すばやく作業を進めましょう。チケット管理、リクエスト管理、クリエイティブリクエスト、仕事の受け付けに便利なスマートワークフローは、すでに利用可能です。さらに 7月末までに、主要チーム向けの追加ワークフローが順次公開されます。



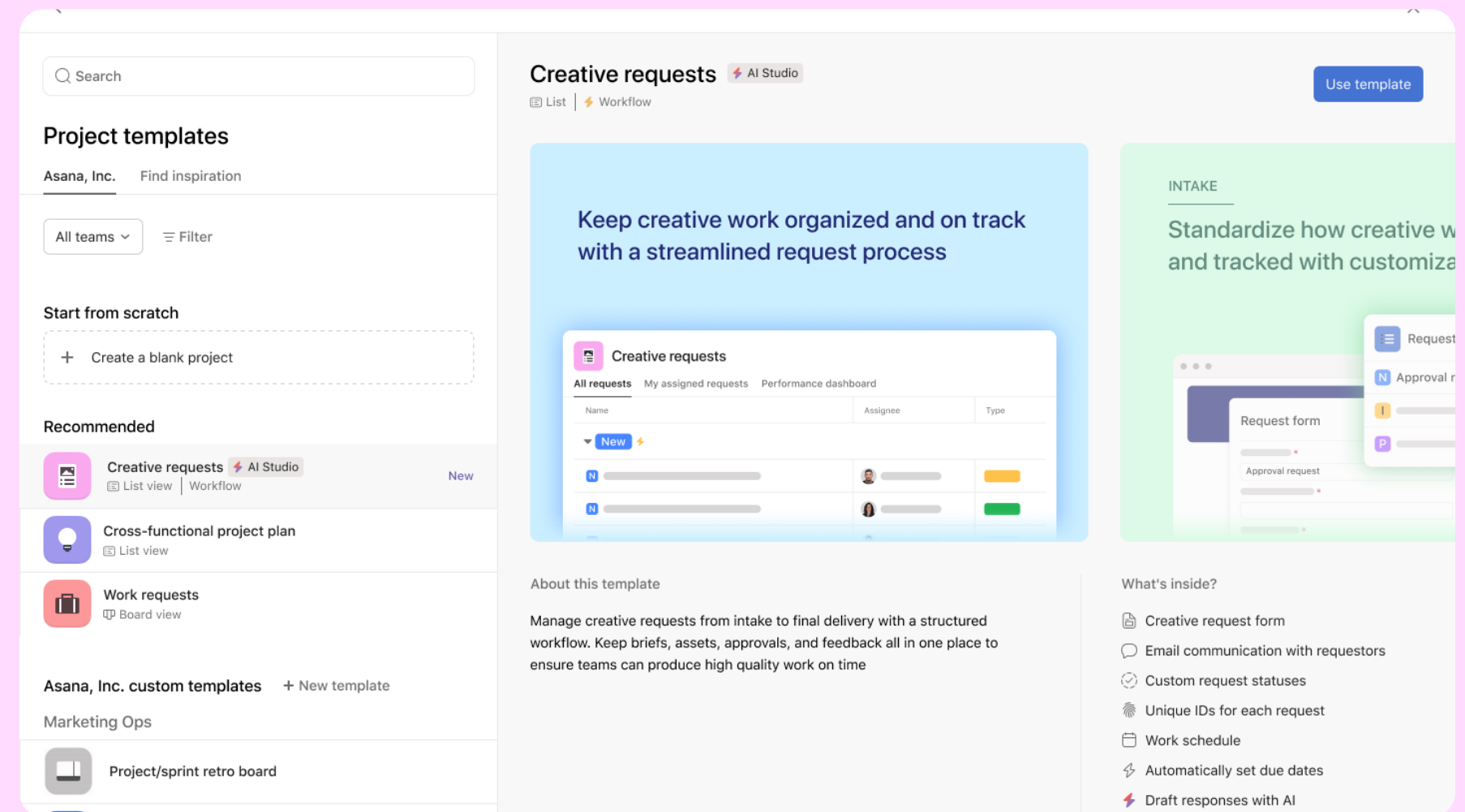
主なメリット

- 事前構築されたテンプレートで、すばやくワークフローを開始
- チームのニーズに合わせてワークフローをカスタマイズ可能
- 人間と AI によるスムーズなコラボレーションにより作業効率が向上



主なユースケース

- リクエスト管理
- チケット管理
- クリエイティブリクエスト
- 仕事の受け付け



機能の使い方

プロジェクトギャラリーからスマートワークフローテンプレートを選択し、「カスタマイズ」メニューのガイダンスに従ってセットアップします。

構築済み AI ルールを数クリックで展開

[リソース →](#)



概要

構築済み AI ルールをルールライブラリから選択し、名前の変更や要約の作成、優先度の決定などに活用することで、作業効率がアップします。AI ルールは AI スタジオでワークフローに合わせてカスタマイズできます。



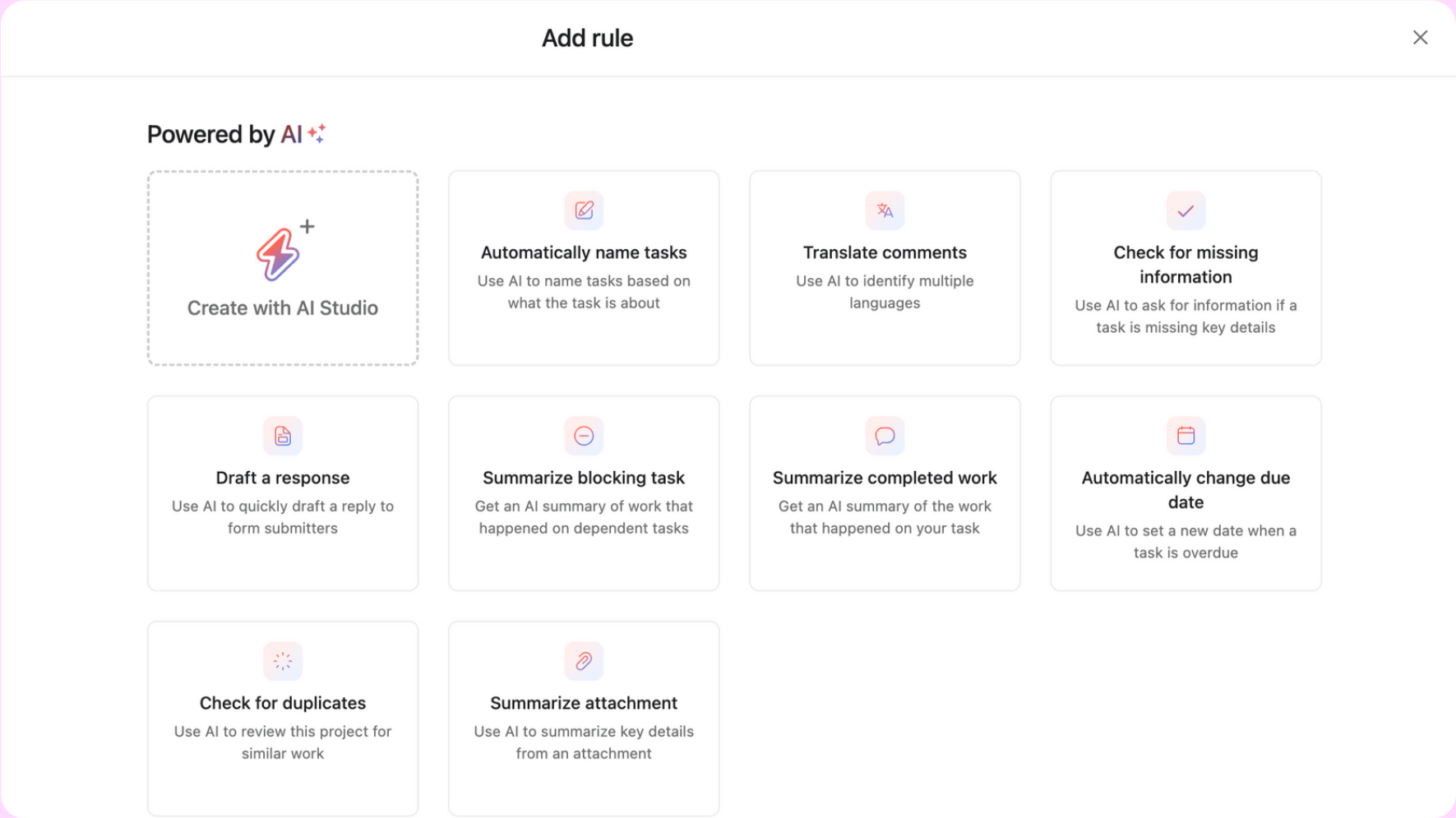
主なメリット

- 一般的なワークフローには構築済み AI ルールを使うことで時間を節約
- チームに合わせたオートメーションでプロセスを強化
- AI への指示を編集してルールをカスタマイズし、ワークフローをより細かくコントロール



主なユースケース

- リクエスト管理
- 製品リリース
- クリエイティブリクエスト
- 仕事の受け付け



機能の使い方

ギャラリーから構築済み AI ルールを選択し、プロジェクトに追加したら、ワークフローに合わせて AI への指示をカスタマイズします。

文書を読み取り、分析する AI による コンテキストを理解した高度なオートメーション

[リソース →](#)



概要

Asana AI が Google ドライブ、OneDrive、SharePoint からの添付ファイルを読み取れるようになりました。これにより、Asana の外部にあるコンテンツに基づいた、より包括的なインサイトとオートメーションを利用できます。



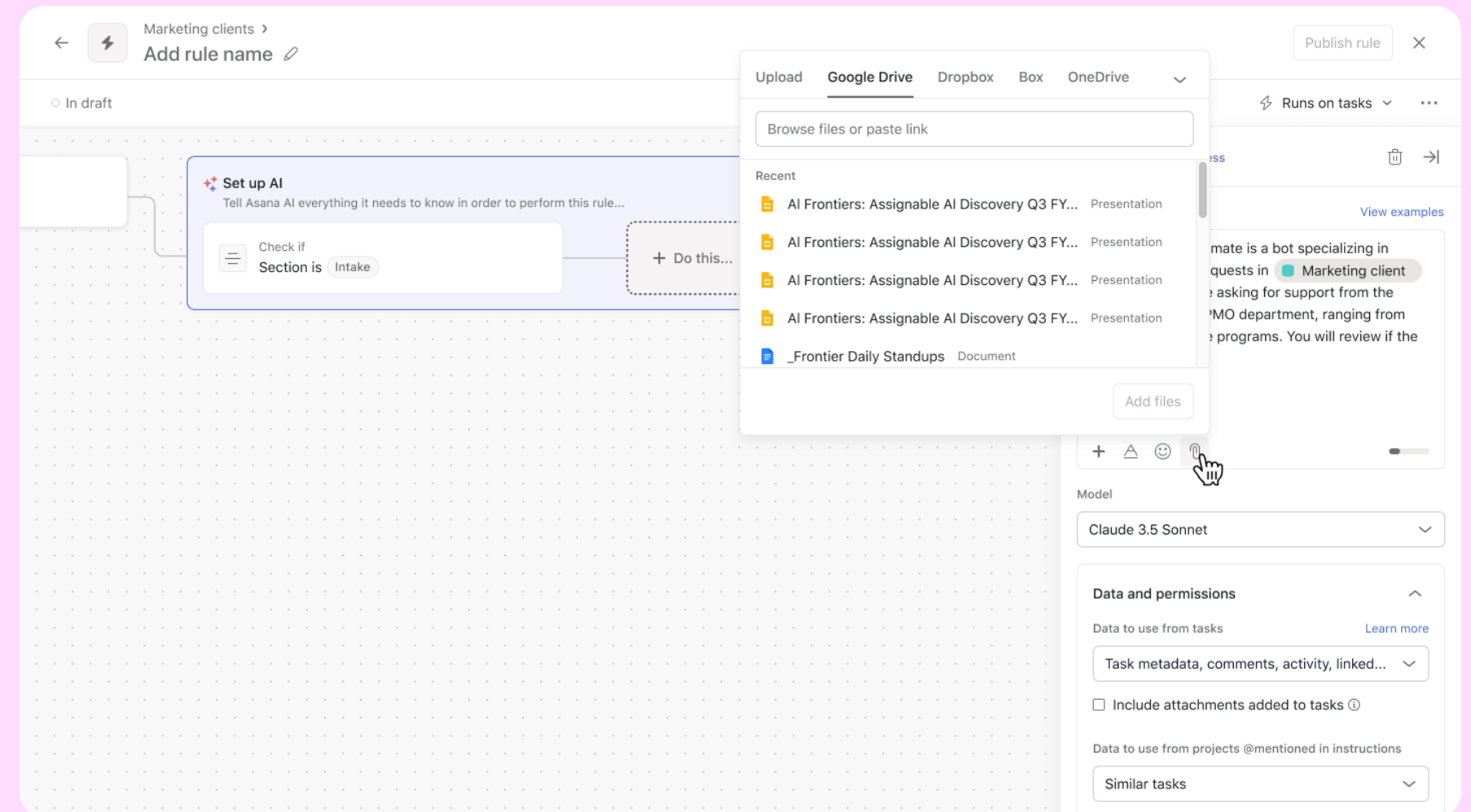
主なメリット

- コンテキストの豊富な文書分析で、AI の精度が向上
- AI が参考資料を保存場所から直接読み取ることで、ワークフローが効率化



主なユースケース

- 仕事の受け付け
- クリエイティブ制作
- キャンペーン計画
- 戦略プランニング
- 製品リリース



機能の使い方

Google ドライブ、OneDrive、または SharePoint からタスクまたは AI スタジオのガイダンスブロックに添付ファイルを追加すると、AI 機能の実行時にその内容の読み取りと分析が自動で行われ、より包括的なインサイトが得られます。

AI によるウェブ検索とリンク読み取りでリアルタイムの情報にアクセス

[リソース →](#)



概要

AI スタジオによる自動のウェブ検索と公開 URL の読み取りが可能になりました。これにより、ワークフローの実行時に最新情報にアクセスできるため、チームは Asana を離れることなく最新データに基づいた意思決定を行えます。



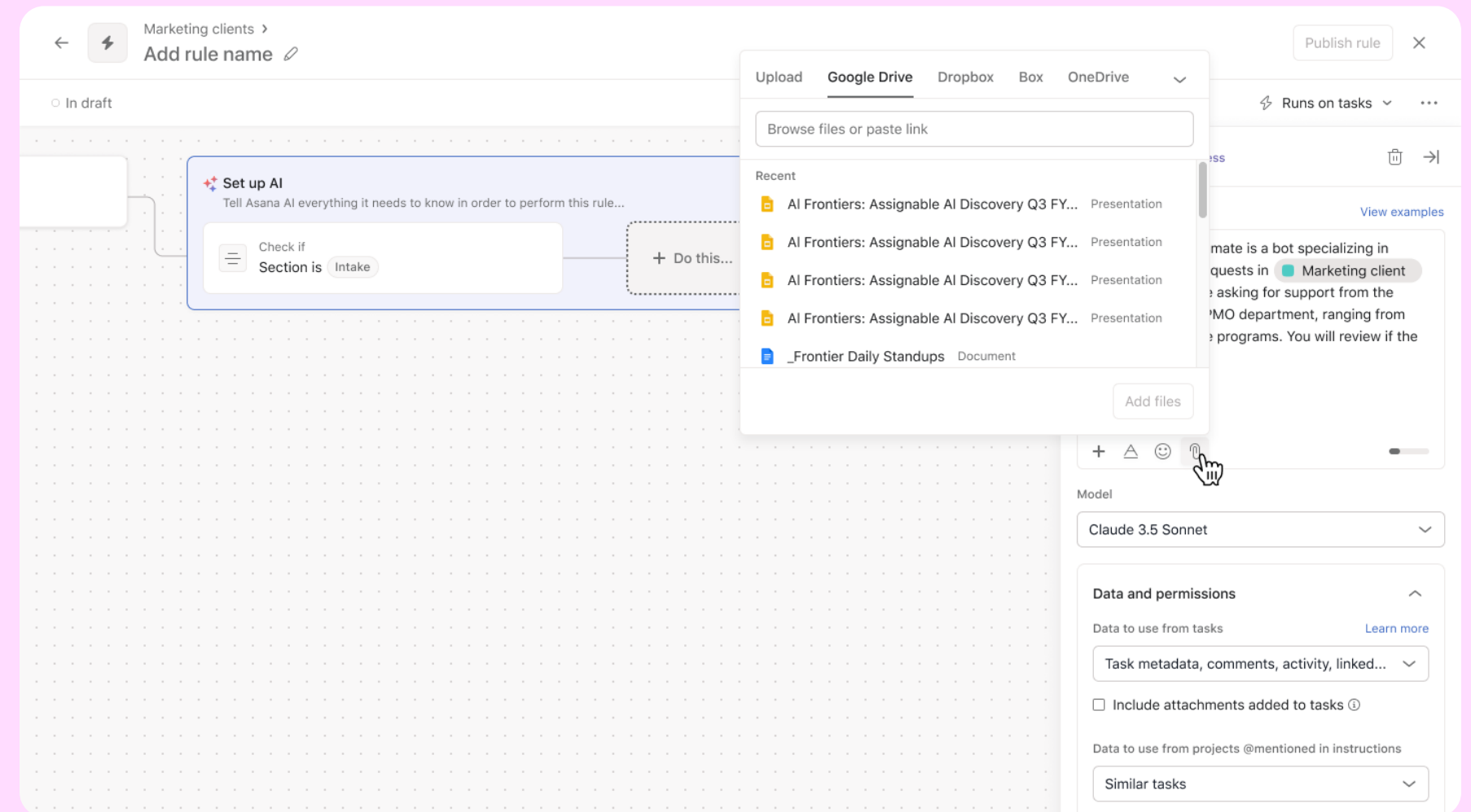
主なメリット

- リアルタイムのウェブインサイトがワークフローに組み込まれているため、より正確な情報を得ることができる
- これまで手作業で行っていたリサーチを自動化することで、時間を節約できる
- Asana やその他のデータをもとに、情報に基づいた意思決定を行える



主なユースケース

- アプローチする前に見込み客をリサーチする
- 過去のクライアントキャンペーンをレビューする
- トレンドや競合他社を追跡する
- ウェブコンテンツでタスクを充実させる



機能の使い方

管理者が管理コンソールでウェブアクセスを有効にすると、ユーザーは AI スタジオのワークフローにウェブ検索を組み込めます。ワークフローが実行されると、AI は必要に応じてウェブ検索やリンク先 URL の読み取りを行い、取得した情報の出典を提供します。

チームの仕事に AI を接続して 面倒な作業をどんどん任せる

[リソース →](#)



概要

AI スタジオでは、目標やポートフォリオ、ワークロードといった、関連する仕事やチームを参照できるようになりました。これにより、AI のよりパワフルで、状況をきちんと把握したアクションが実現します。



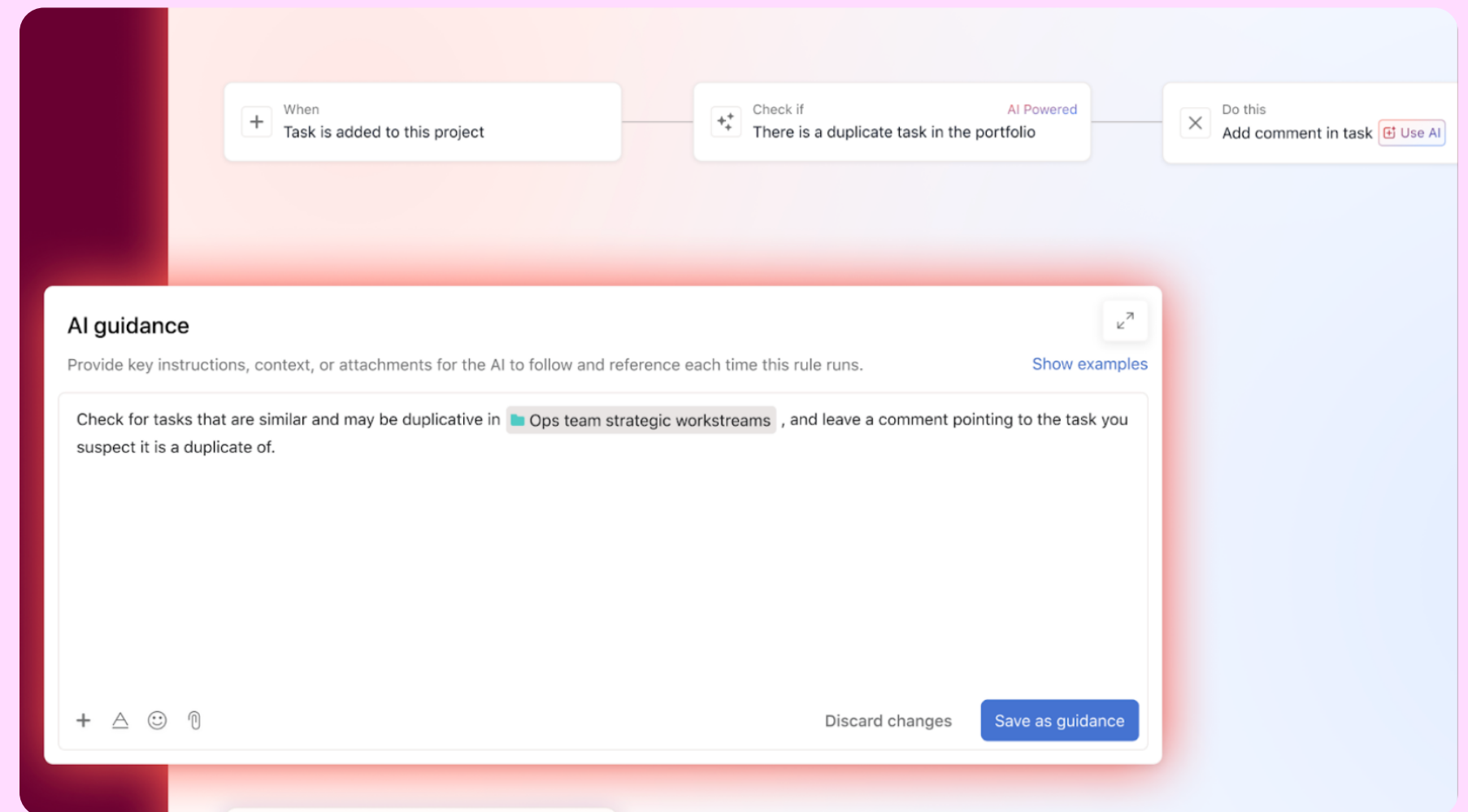
主なメリット

- AI を目標、プロジェクト、ワークロードに接続することで、より効率的なワークフローを作成する
- チームのキャパシティに応じて、自動的にタスクを割り当てる
- タスクを目標や主要な優先事項に関連付けることで、チームの連携を維持する



主なユースケース

- 戦略プランニング
- ポートフォリオ管理
- リソース管理



機能の使い方

ルールの説明にチームや目標を @メンションするか、ワークロードの URL を貼り付けて、AI がこうしたオブジェクトにアクセスできるようにします。ワークロードについては、AI がチームのキャパシティを分析し、インテリジェントな割り当てを行います。

2025年春季リリース

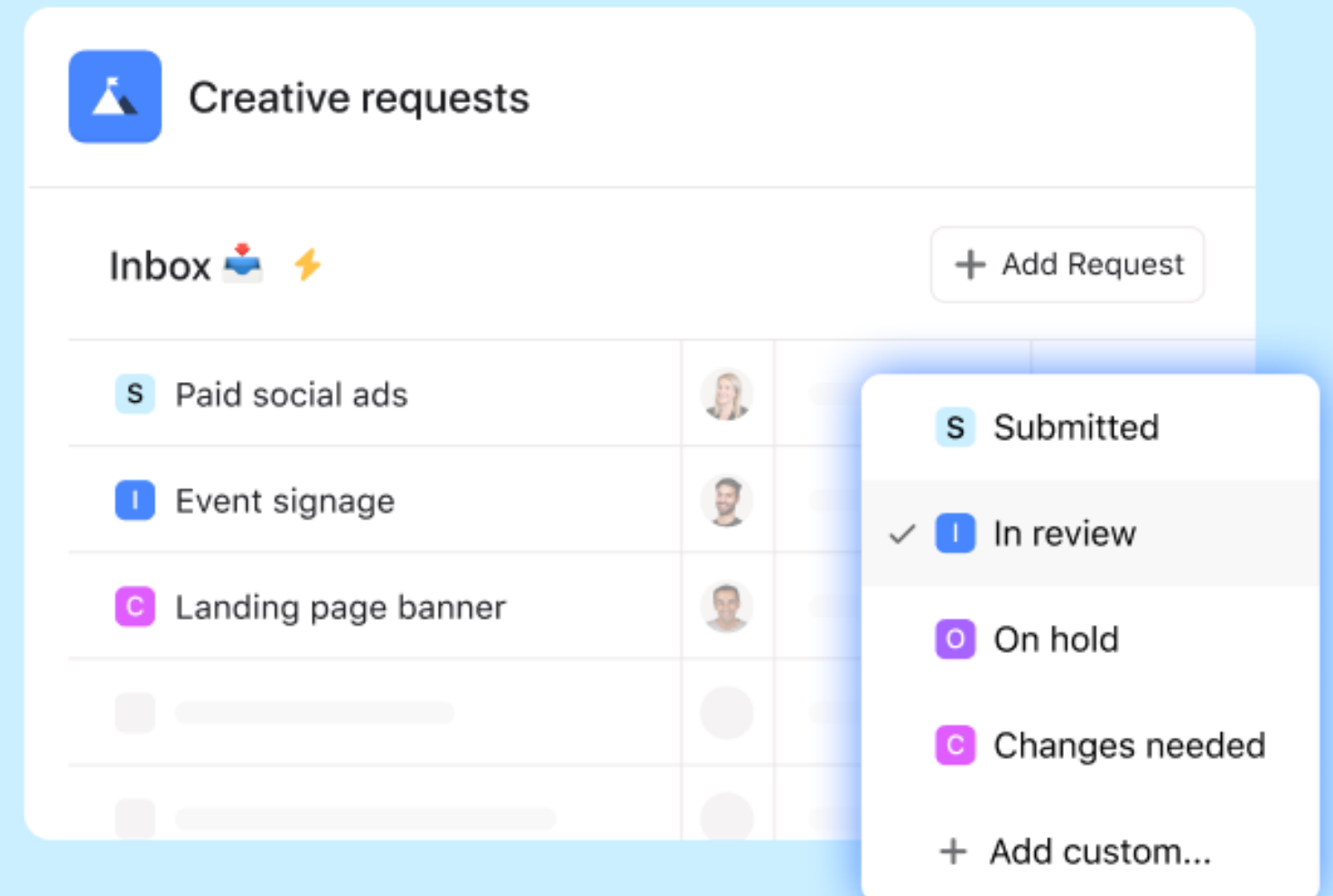
リクエスト管理



リクエスト管理

[詳しく見る →](#)

- ✓ **スマートワークフローギャラリー**
事前構築された AI ワークフローですばやく仕事に着手
- ✓ **リクエスト管理とチケット管理**
リクエストの受け付けから解決までのプロセスを効率化
- ✓ **サービス水準合意レポート**
サービス水準合意を追跡してパフォーマンスを向上
- ✓ **事前構築された AI ルール**
事前構築された AI ルールを数クリックで適用、ステップを自動化



スマートワークフローギャラリーの構築済み AI ワークフローですばやく仕事に着手

[リソース →](#)



概要

事前構築された AI ワークフローをチームに合わせてカスタマイズすることで、ベストプラクティスを標準化し、すばやく作業を進めましょう。チケット管理、リクエスト管理、クリエイティブリクエスト、仕事の受け付けに便利なスマートワークフローは、すでに利用可能です。さらに 7 月末までに、主要チーム向けの追加ワークフローが順次公開されます。



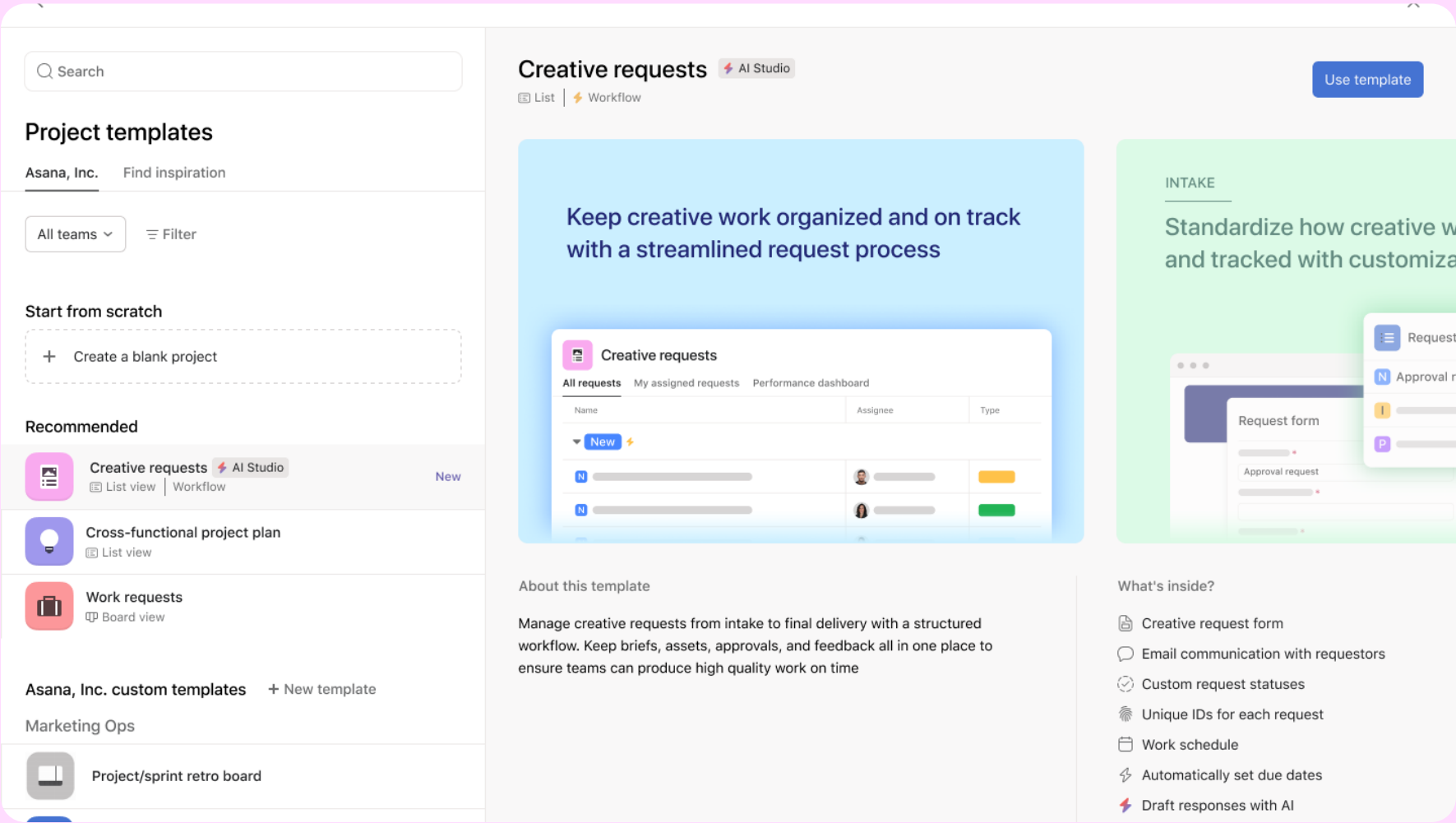
主なメリット

- 事前構築されたテンプレートで、すばやくワークフローを開始
- チームのニーズに合わせて各ワークフローをカスタマイズ可能
- 人間と AI によるシームレスなコラボレーションにより作業効率を向上



主なユースケース

- リクエスト追跡
- チケット管理
- クリエイティブリクエスト
- 仕事の受け付け



機能の使い方

プロジェクトギャラリーからスマートワークフローテンプレートを選択し、「カスタマイズ」メニューのガイダンスに従ってセットアップします。

エンドツーエンドのリクエスト管理とチケット管理による リクエスト対応プロセスの合理化

[リソース →](#)



概要

Asana のリクエスト管理とチケット管理機能は、大量のリクエストを扱うワークフローを管理するための包括的なソリューションです。SLA タイマー、カスタムステータス、リクエスト送信者とやり取りできる機能が組み込まれており、チームは一元管理されたシステムで、効率よく新規リクエストを管理し、その優先順位を付け、解決することができます。

チケット管理やリクエスト管理、クリエイティブリクエスト、仕事の受け付け用のテンプレートを活用することで、チームはすぐに作業を開始し、さまざまなユースケースにおいてワークフローを標準化できます。



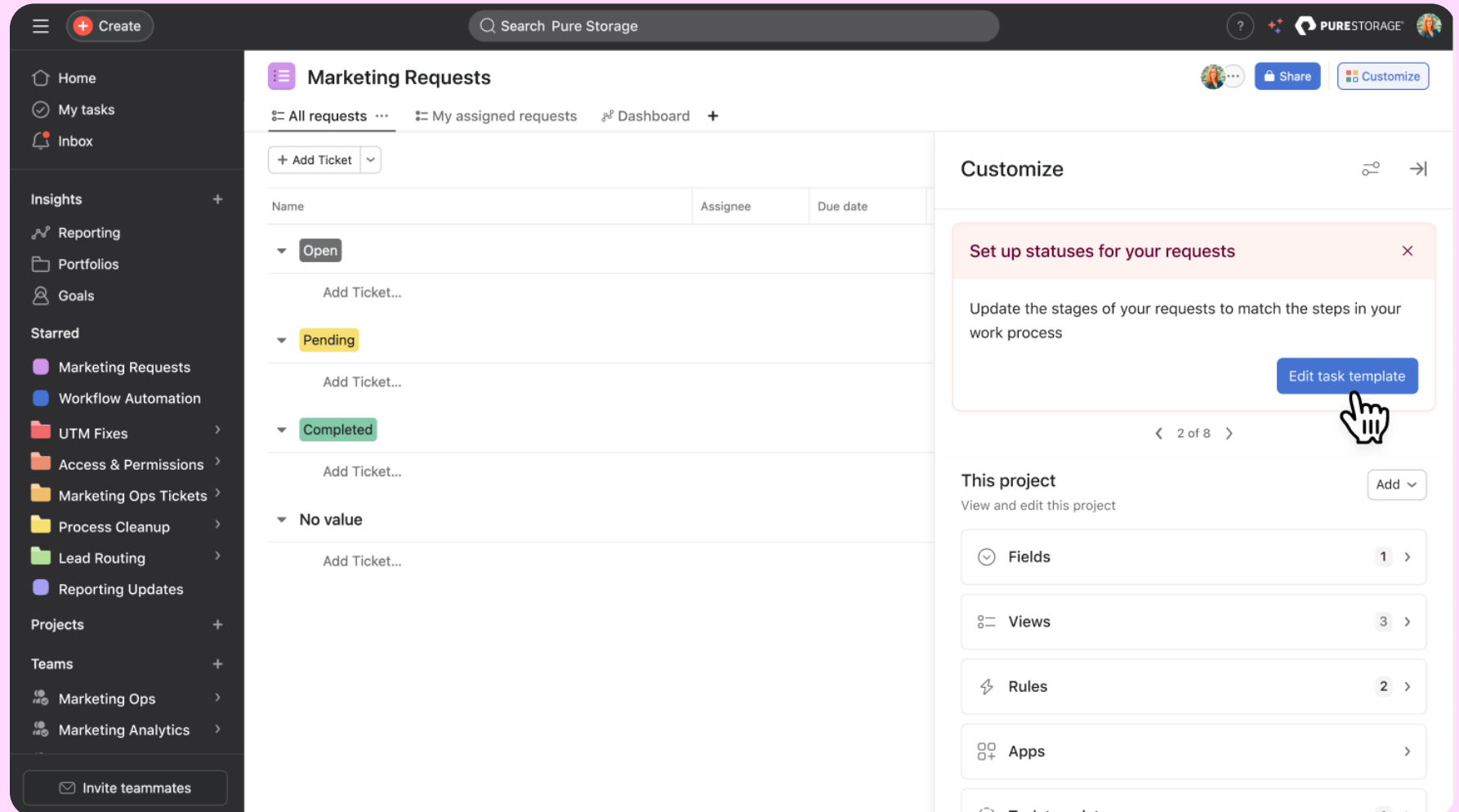
主なメリット

- 応答と解決をリアルタイムで追跡することで、常に説明責任を果たす
- カスタムのタスクタイプとステータスを使用して、ワークフローを標準化
- Asana アカウントを持たないリクエスト送信者ともコミュニケーション可能
- サービス水準合意と解決時間レポートを活用して、パフォーマンスをモニタリング



主なユースケース

- IT ヘルプデスク
- クリエイティブリクエスト管理
- PMO 業務の受け付け
- 社内サービスチーム



機能の使い方

まずは事前に作成されたテンプレートを開き、受け付けフォーム、ステータス、SLA タイマーをカスタマイズします。オートメーションを使用して、リクエストを転送し、期限にフラグを立て、リクエストの送信者に最新情報を提供すると同時にパフォーマンスを完全に可視化します。

サービス水準合意を追跡してパフォーマンスを向上

リソース →



概要

「タイマー」カスタムフィールドを使用して、サービス水準合意のカウントダウンを追跡し、違反にフラグを立てます。サービス水準合意レポートには、この情報に基づいたタイマーデータが視覚化され、主要な傾向も明らかになるため、チームはパフォーマンスを幅広く追跡することができます。



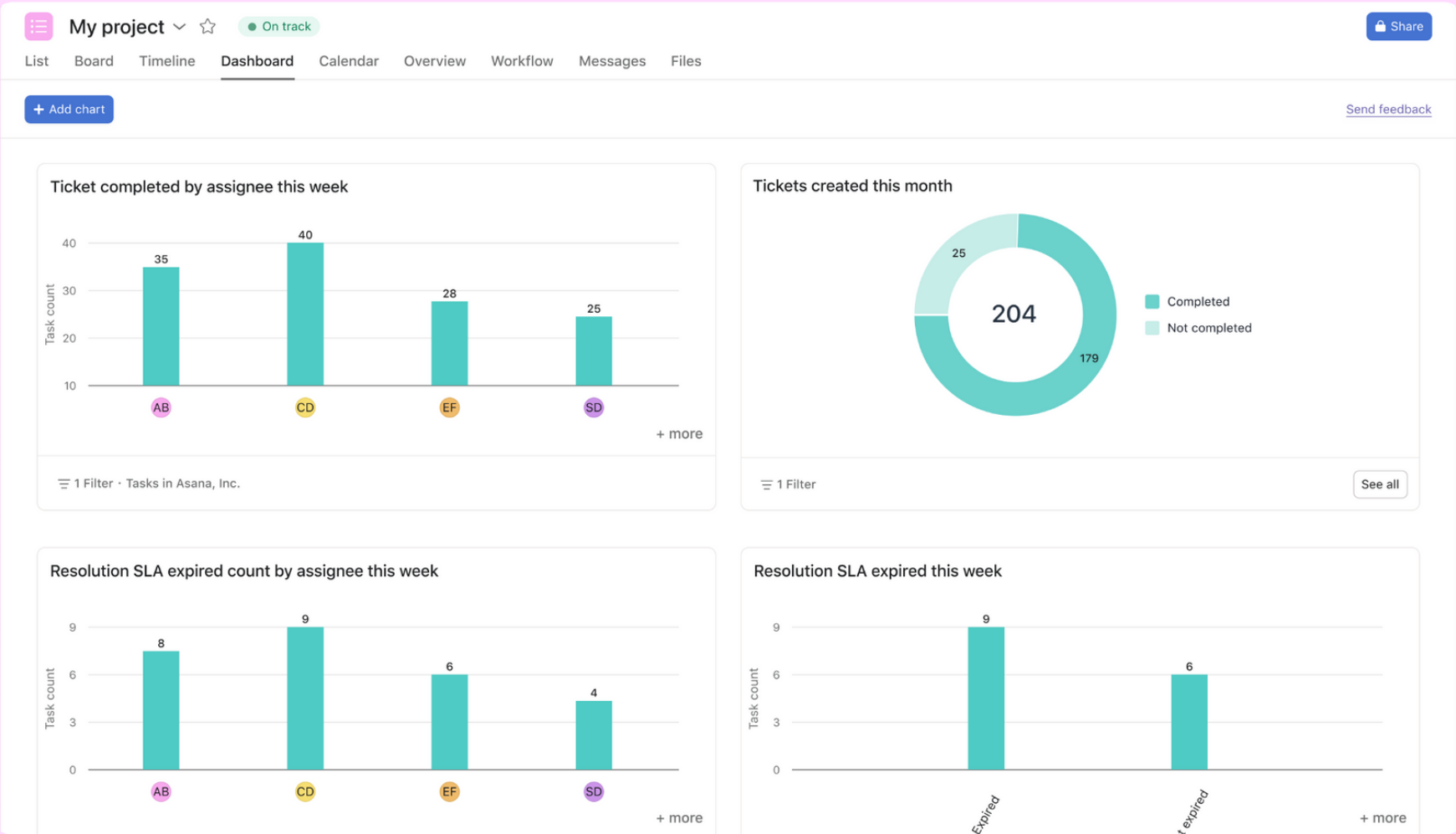
主なメリット

- 応答時間と解決時間をリアルタイムで確認できるため、サービス水準合意を遵守できる
- ボトルネックを特定して対処することで、チームのパフォーマンスを向上できる
- リクエストの傾向やワークロードに関する明確なインサイトを考慮して、情報に基づいた意思決定を行える



主なユースケース

- チケット管理
- リクエスト追跡
- クリエイティブリクエスト
- 仕事の受け付け



機能の使い方

タイマーが組み込まれたスマートワークフローテンプレートを無料で始めましょう。タスクに値を設定して、カウントダウンを追跡し、締め切りが迫っていることや、過ぎていることを強調表示することで、チームが順調に作業を進められるようにします。

構築済み AI ルールを数クリックで展開

[リソース →](#)



概要

構築済み AI ルールをルールライブラリから選択し、名前の変更や要約の作成、トリージなど活用することで、作業効率がアップします。AI ルールは AI スタジオでワークフローに合わせてカスタマイズできます。



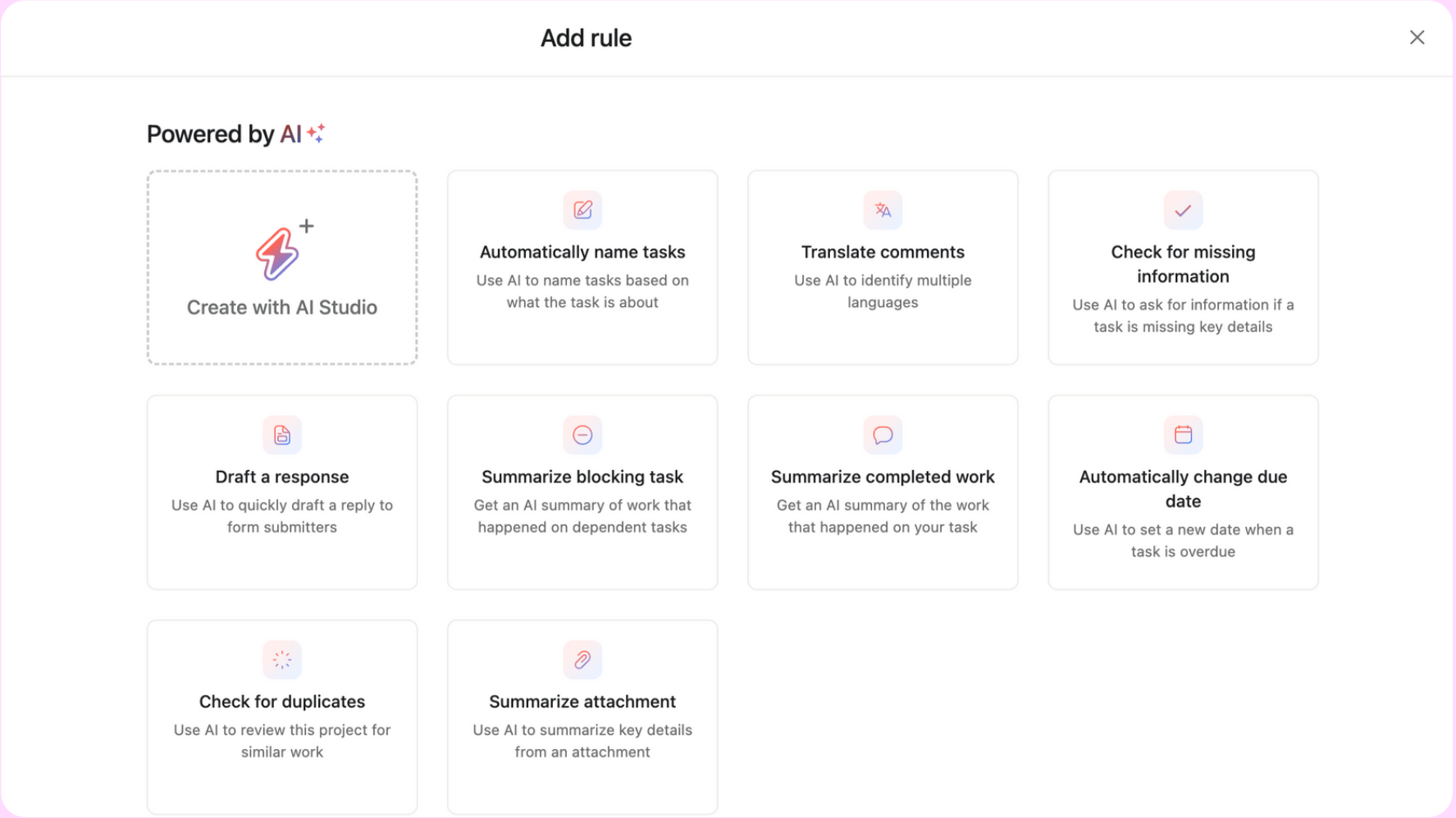
主なメリット

- 一般的なワークフローには構築済み AI ルールを使うことで時間を節約
- チームに合わせてカスタマイズされたオートメーションでプロセスを強化
- AI への指示を編集してルールをカスタマイズし、ワークフローをより細かくコントロール



主なユースケース

- リクエスト追跡
- 製品リリース
- クリエイティブリクエスト
- 仕事の受け付け



機能の使い方

ギャラリーから構築済み AI ルールを選択し、プロジェクトに追加したら、ワークフローに合わせて AI への指示をカスタマイズします。

2025年春季リリース

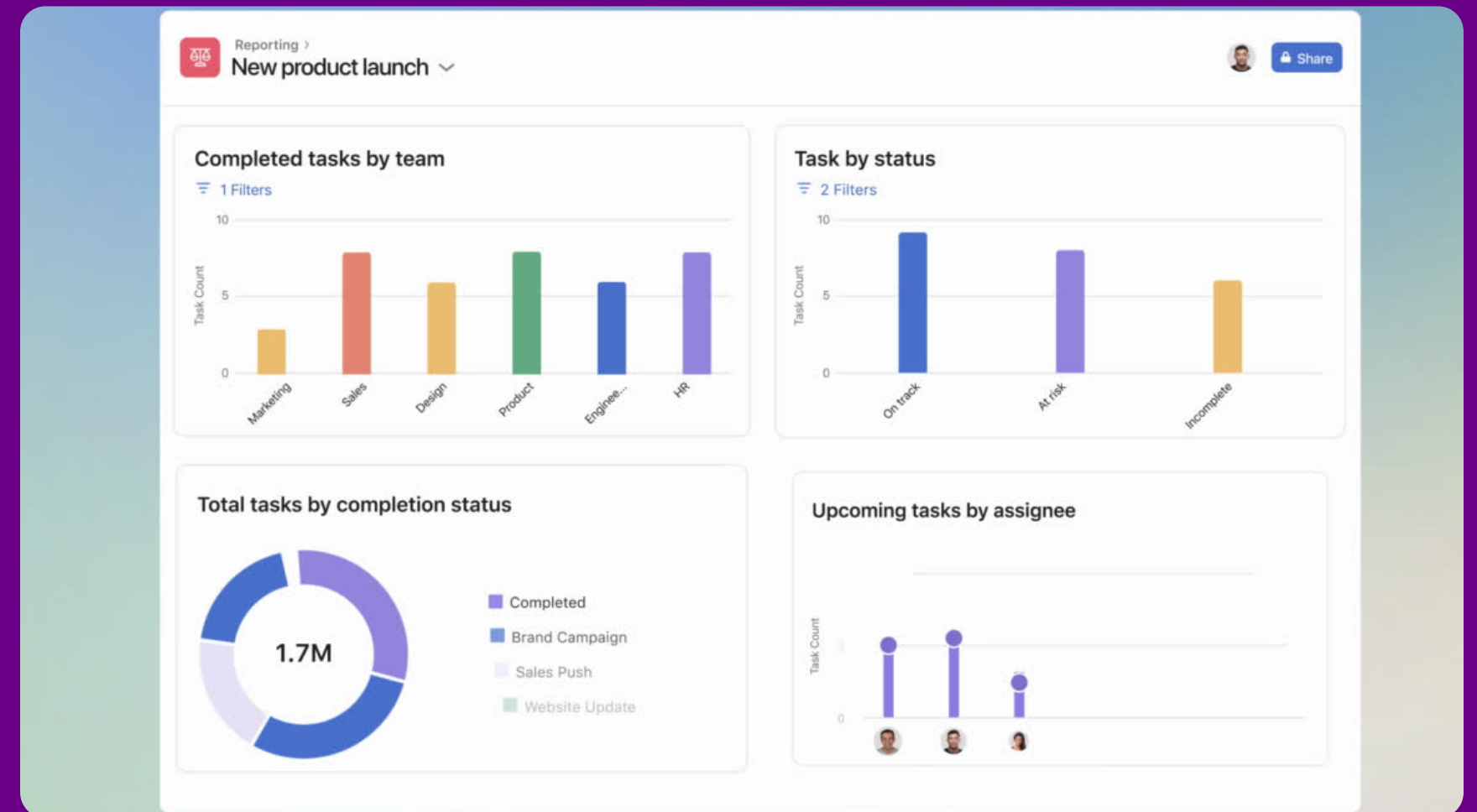
ビジネスレビュー とレポート



ビジネスレビューとレポート

[リソース →](#)

- ✓ **ダッシュボードをチームと共有**
ダッシュボードを複数のチームと共有して、部門横断的な連携を強化
- ✓ **共同でステータス更新を作成**
ステータス更新の共同編集で全体像を把握
- ✓ **サービス水準合意レポート**
サービス水準合意を追跡してパフォーマンスを向上



ダッシュボードを複数のチームと共有して 部門横断的な連携を強化

リソース →



概要

ダッシュボードを複数のチームと、または組織全体で共有することで、コラボレーションが強化され、重要なインサイトや指標を簡単に周知できるようになります。



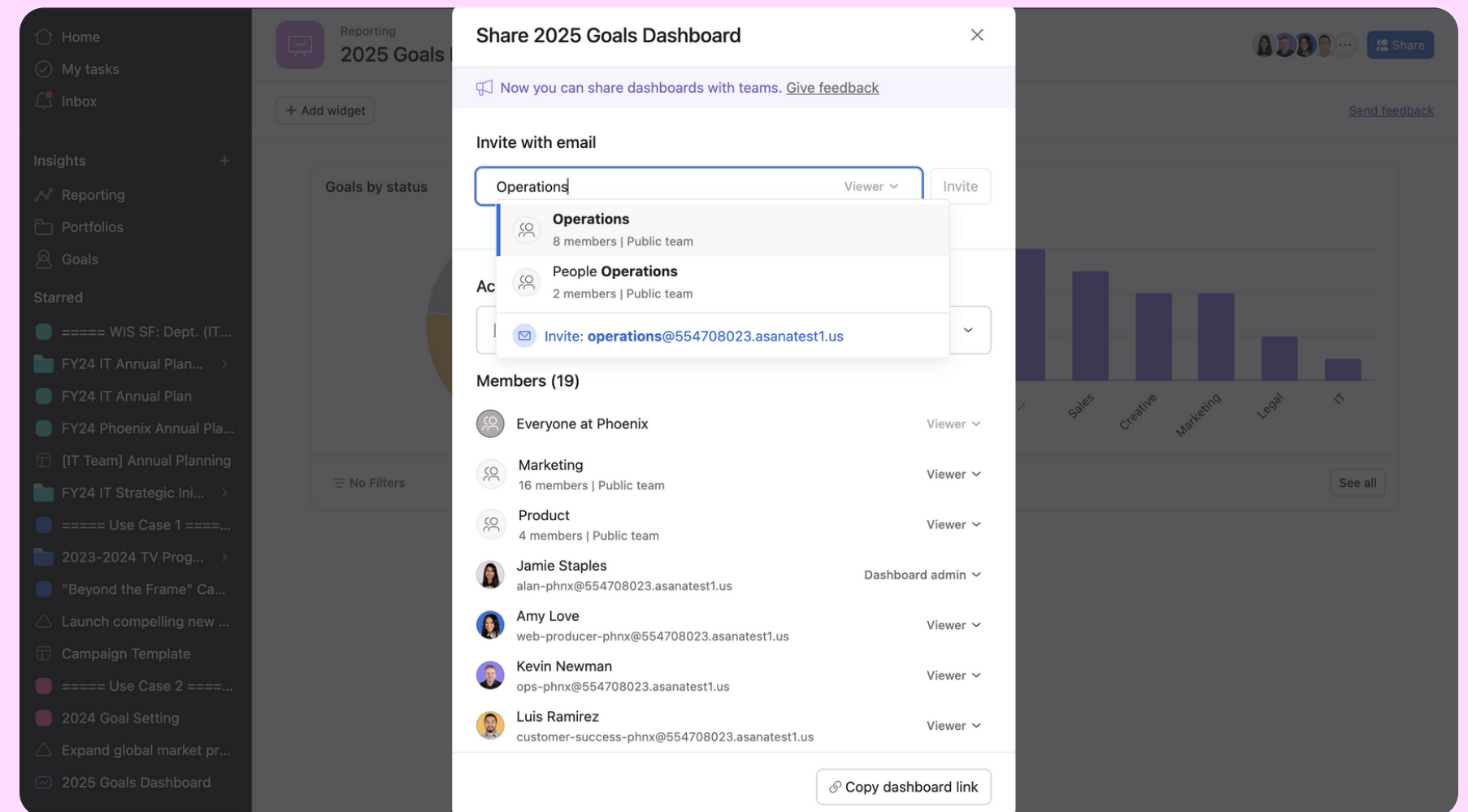
主なメリット

- チーム全体にアクセス権を付与することで、効率よく共有でき、手動での個別付与が不要
- 重要な指標を確認する必要のあるすべてのメンバーに表示
- 柔軟な共有設定を使って、共有する相手をコントロールをしながら、可視性を高める



主なユースケース

- 経営幹部への報告
- チームパフォーマンスの追跡
- 部門横断コラボレーション



機能の使い方

ダッシュボードの共有設定にアクセスし、共有先のチームを選択して、適切なアクセスレベルを選択すると、チームメンバー全員が即座にダッシュボードを閲覧できるようになります。

ステータス更新の共同編集で全体像を把握

[リソース →](#)

概要

正確性と認識の統一を図るために、ステータス更新をチームで共同作成できます。プロジェクト、ポートフォリオ、目標のステータス更新にチームメイトをコラボレーターとして追加しましょう。下書きはすべて、「ステータス」メニューからアクセスできます。



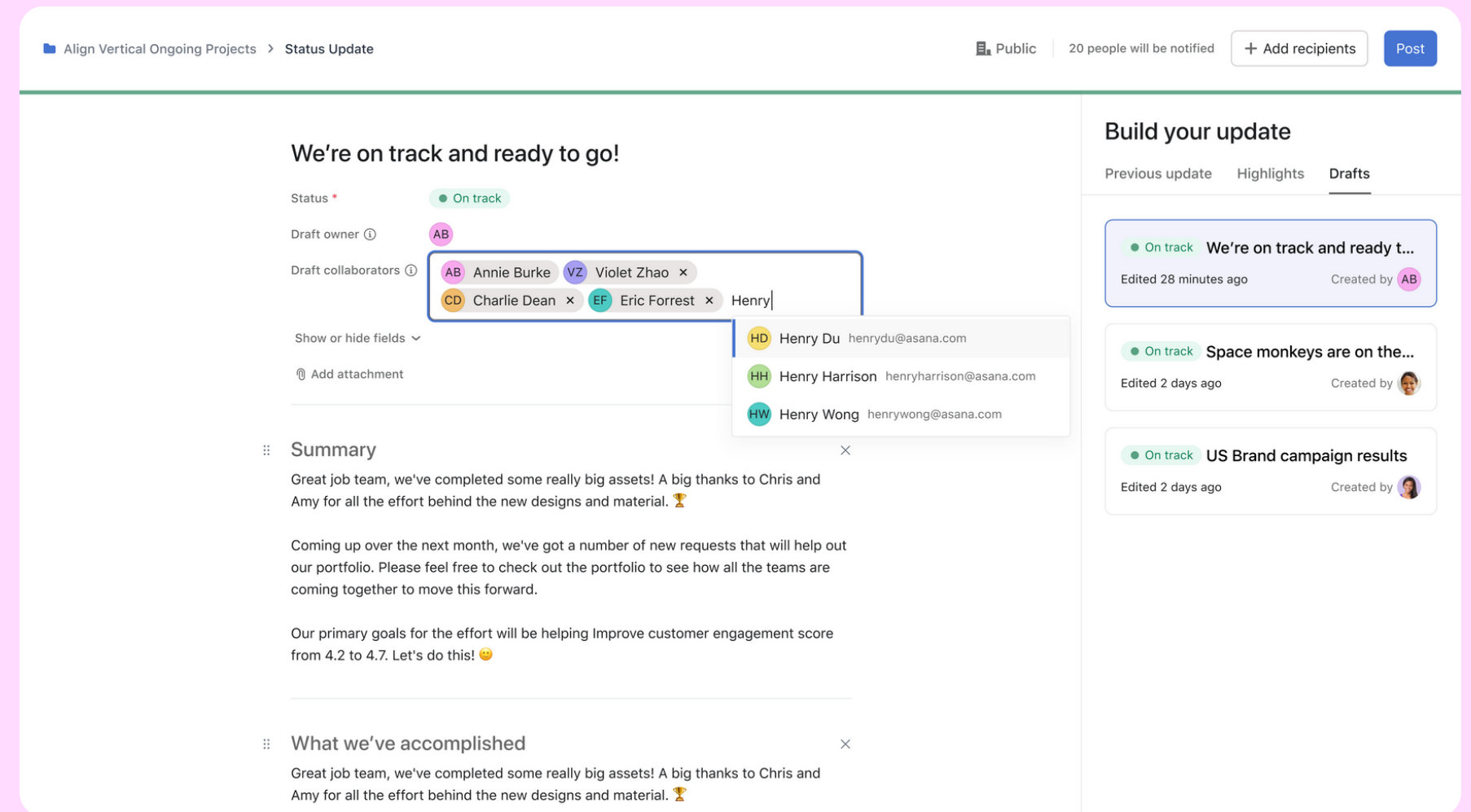
主なメリット

- 適切な関係者と一緒に下書きを作成することで、ステータス更新の質を改善できる。
- 共同編集することで、公開する前に、すべての情報が正しいことを確認できる。
- 不要なやり取りはせずに、共同作業でステータス更新を制作することで、時間を節約できる。



主なユースケース

- 経営幹部への報告
- 部門横断プロジェクトの最新情報
- ビジネスレビュー (月次、四半期ごと)



機能の使い方

ステータス更新の下書き作業にコラボレーターを追加すると、追加されたメンバーに通知が送られます。下書きはすべて「ステータス」ドロップダウンから確認できます。公開前にチームワークで仕上げましょう。

サービス水準合意を追跡してパフォーマンスを向上

リソース →



概要

「タイマー」カスタムフィールドを使用して、サービス水準合意のカウントダウンを追跡し、違反にフラグを立てます。サービス水準合意レポートには、この情報に基づいたタイマーデータが視覚化され、主要な傾向も明らかになるため、チームはパフォーマンスを幅広く追跡することができます。



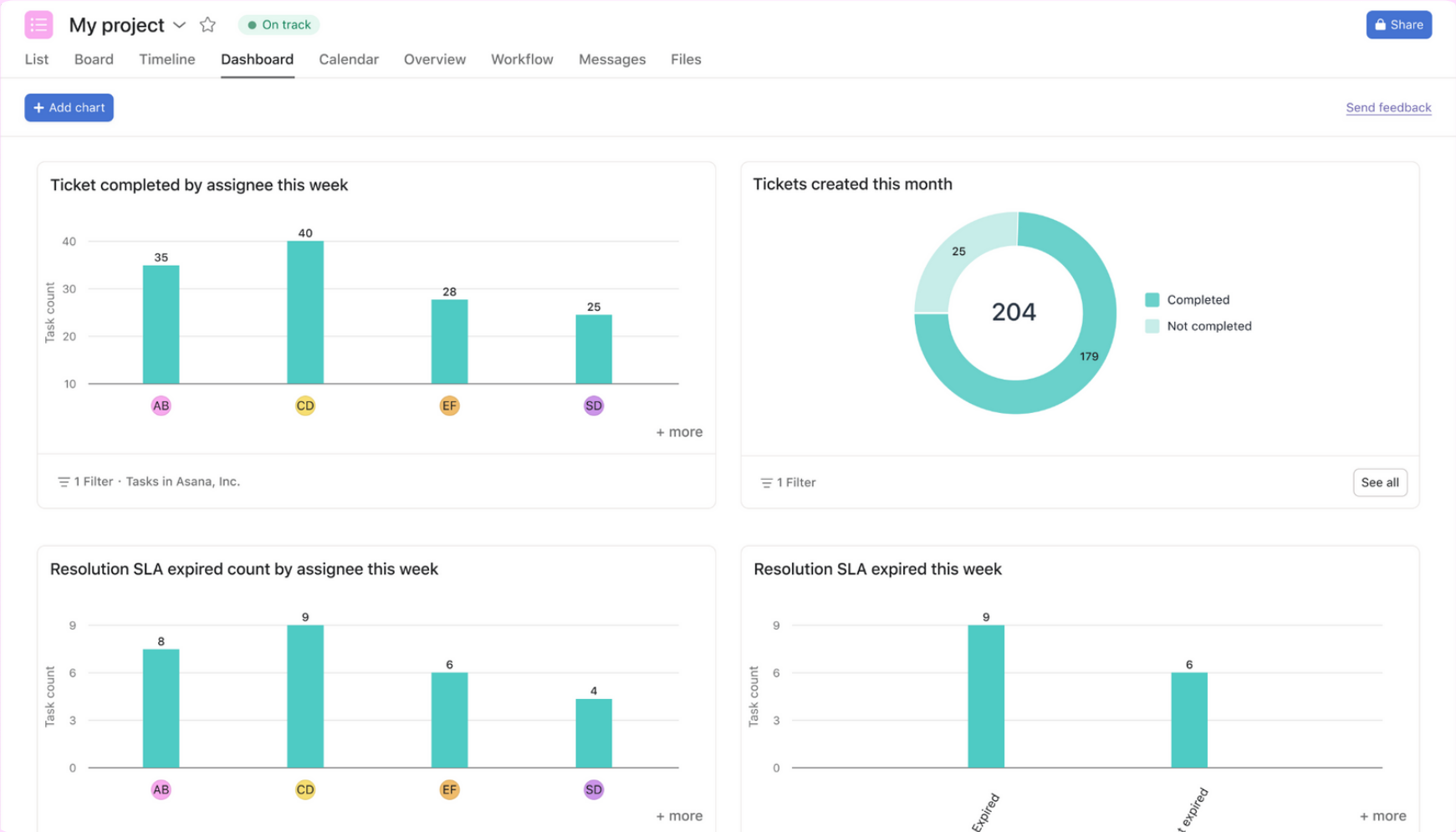
主なメリット

- 応答時間と解決時間をリアルタイムで確認できるため、サービス水準合意を遵守できる
- ボトルネックを特定して対処することで、チームのパフォーマンスを向上できる
- リクエストの傾向やワークロードに関する明確なインサイトを考慮して、情報に基づいた意思決定を行える



主なユースケース

- チケット管理
- リクエスト追跡
- クリエイティブリクエスト
- 仕事の受け付け



機能の使い方

タイマーが組み込まれたスマートワークフローテンプレートを無料で始めましょう。タスクに値を設定して、カウントダウンを追跡し、締め切りが迫っていることや、過ぎていることを強調表示することで、チームが順調に作業を進められるようにします。

2025年春季リリース

連携機能



連携機能

[詳しく見る →](#)



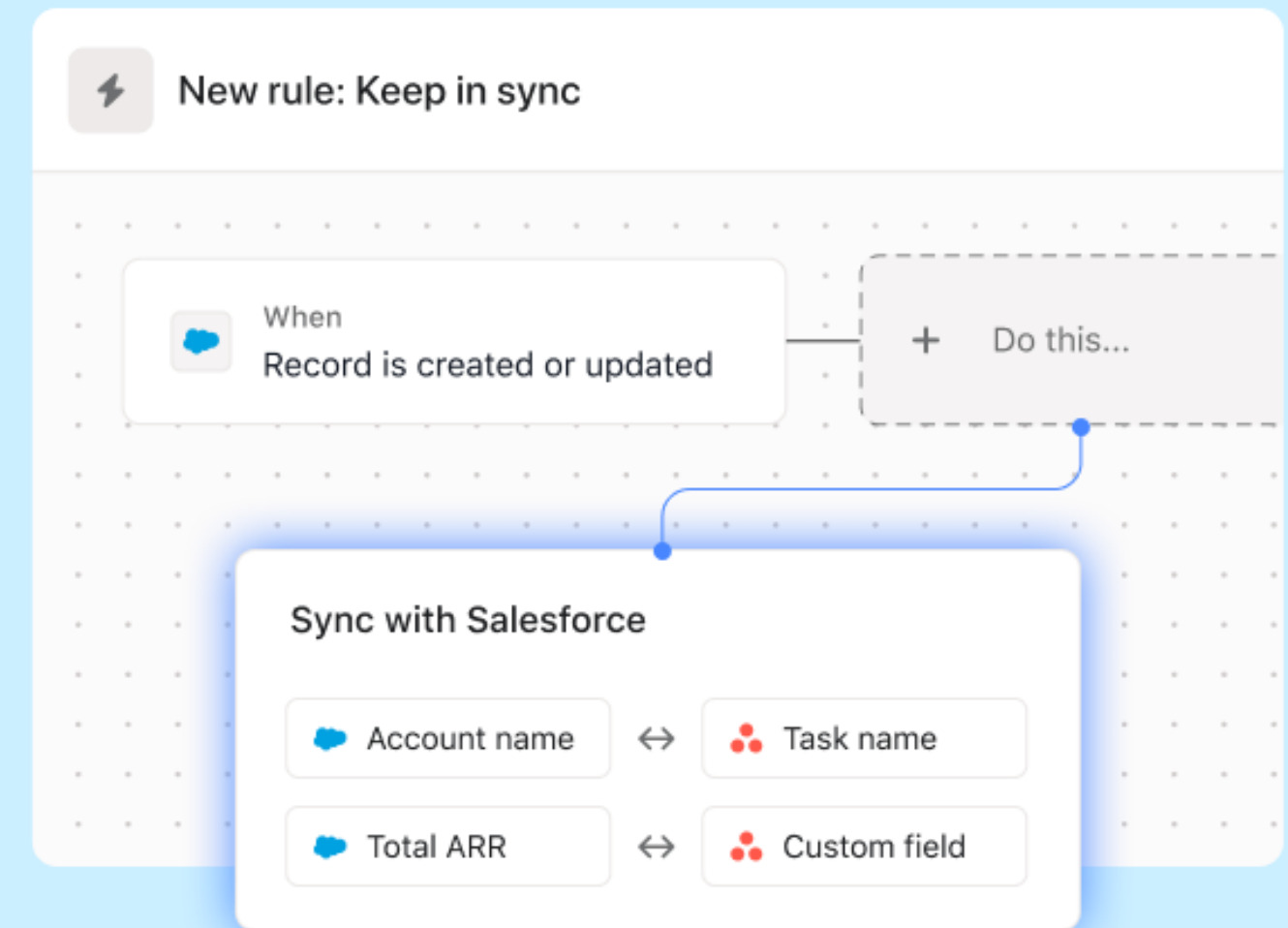
Microsoft Teams での受信トレイ通知

Microsoft Teams から直接、通知に対応



文書の読み取り

文書を読み取り、分析する AI の力で、より優れたオートメーションを構築し、コンテキストをより深く把握



Microsoft Teams から直接、通知に対応

リソース →



概要

リアルタイムの受信トレイ通知を使用すれば、Microsoft Teams 内で Asana のコメントに返信したり、フォローアップのタスクを作成したり、仕事を完了したりできます。集中力を保ち、コンテキストの切り替えを減らしましょう。



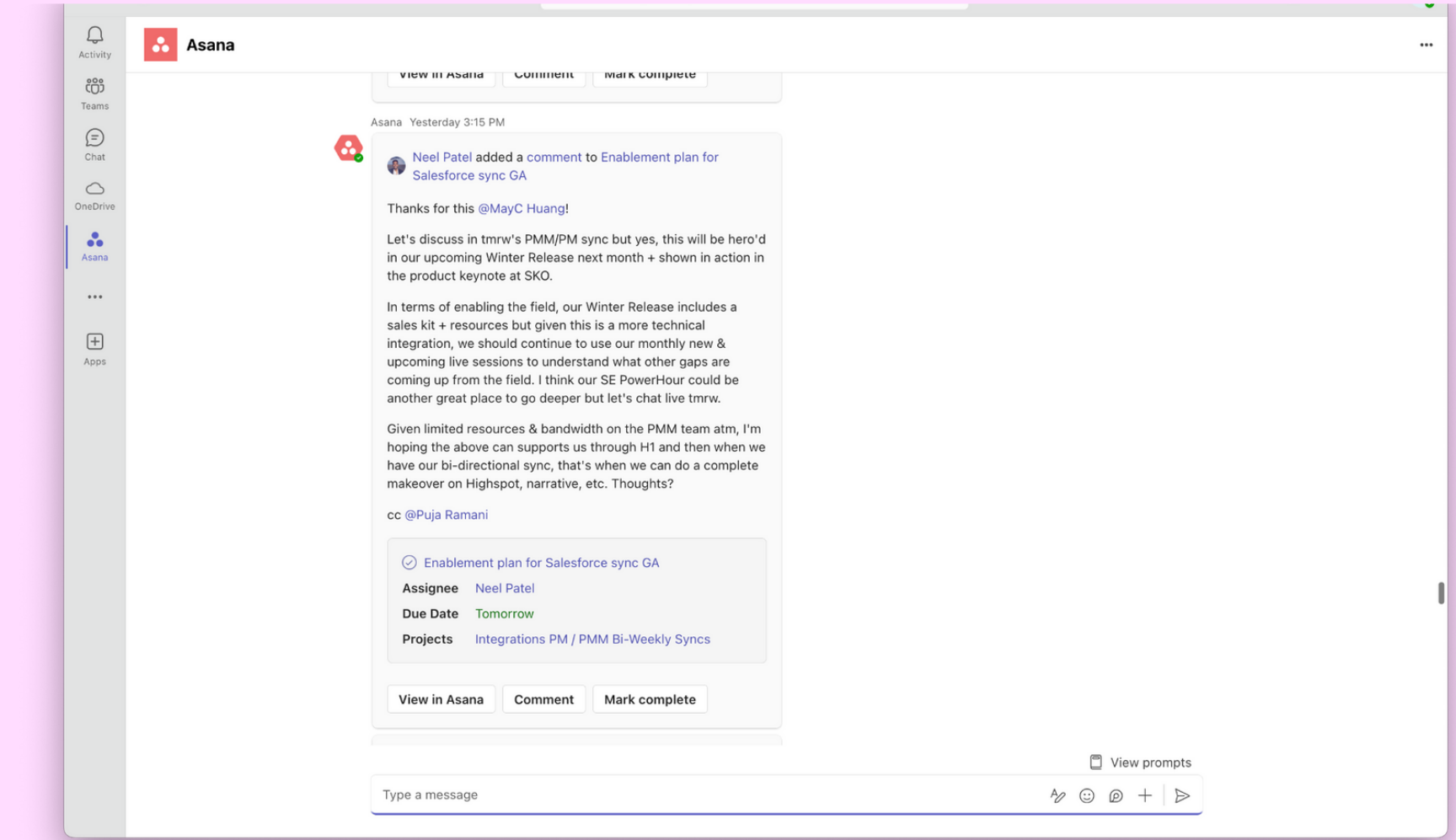
主なメリット

- Microsoft Teams 内で直接 Asana の受信トレイ通知を受け取り、最新情報を把握できる
- Teams から直接コメントに返信したりフォローアップのタスクを作成したりして、すばやく対応できる
- 通知をカスタマイズして、自分にとって最も重要な最新情報を受け取れる



主なユースケース

- 仕事の受け付け
- クリエイティブ制作
- キャンペーン計画
- 戦略プランニング
- 製品リリース



機能の使い方

Microsoft Teams では受信トレイの通知がデフォルトでオンになっています。Microsoft Teams の通知は、Asana の「設定」ページで有効または無効にできます。

文書を読み取り、分析する AI による コンテキストを理解した高度なオートメーション

[リソース →](#)



概要

Asana AI が Google ドライブ、OneDrive、SharePoint からの添付ファイルを読み取れるようになりました。これにより、Asana の外部にあるコンテンツに基づいた、より包括的なインサイトとオートメーションを利用できます。



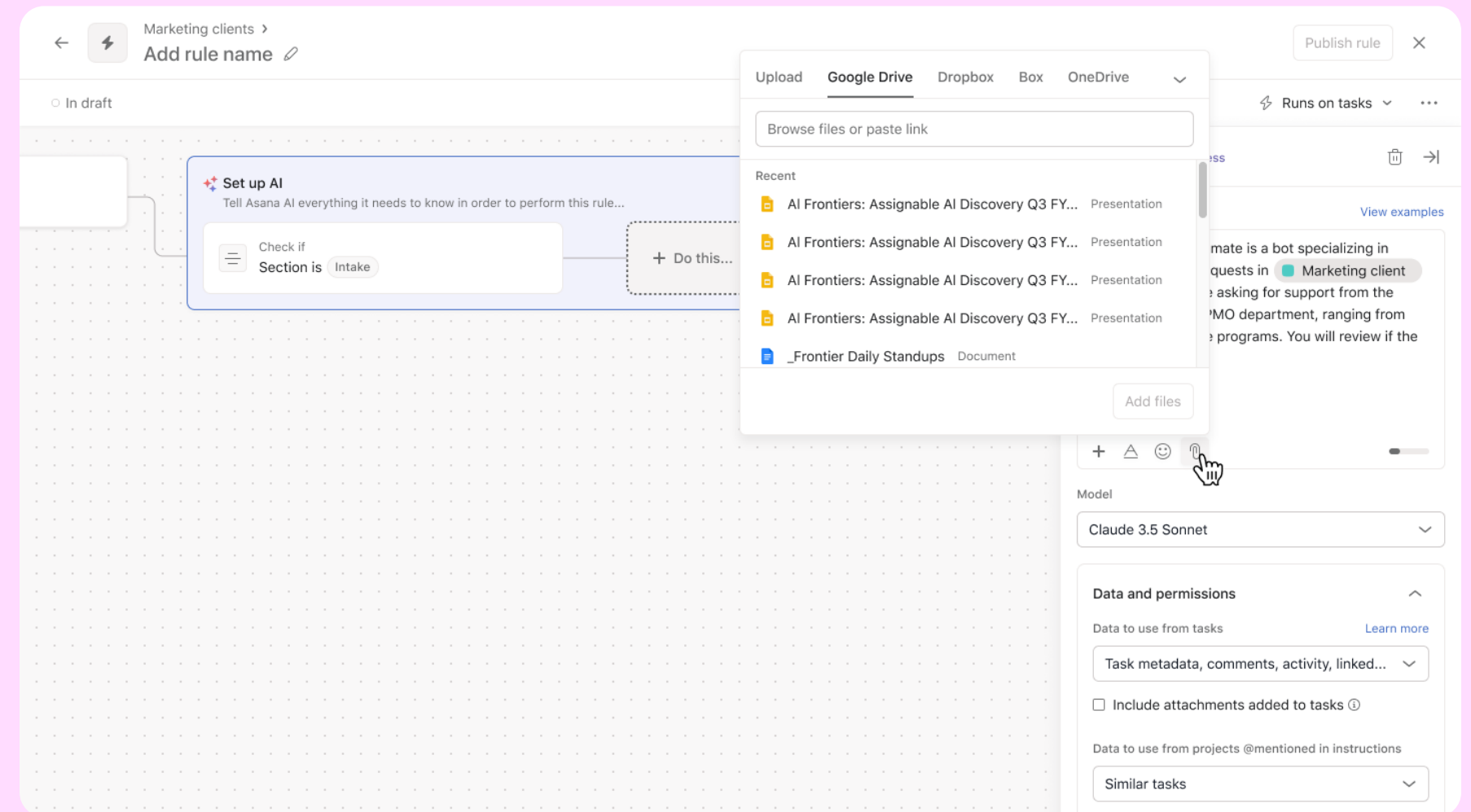
主なメリット

- コンテキストの豊富な文書分析で、AI の精度が向上
- AI が参考資料を保存場所から直接読み取ることで、ワークフローが効率化



主なユースケース

- 仕事の受け付け
- クリエイティブ制作
- キャンペーン計画
- 戦略プランニング
- 製品リリース



機能の使い方

Google ドライブ、OneDrive、または SharePoint からタスクまたは AI スタジオのガイダンスブロックに添付ファイルを追加すると、AI 機能の実行時にその内容の読み取りと分析が自動で行われ、より包括的なインサイトが得られます。

2025年春季リリース

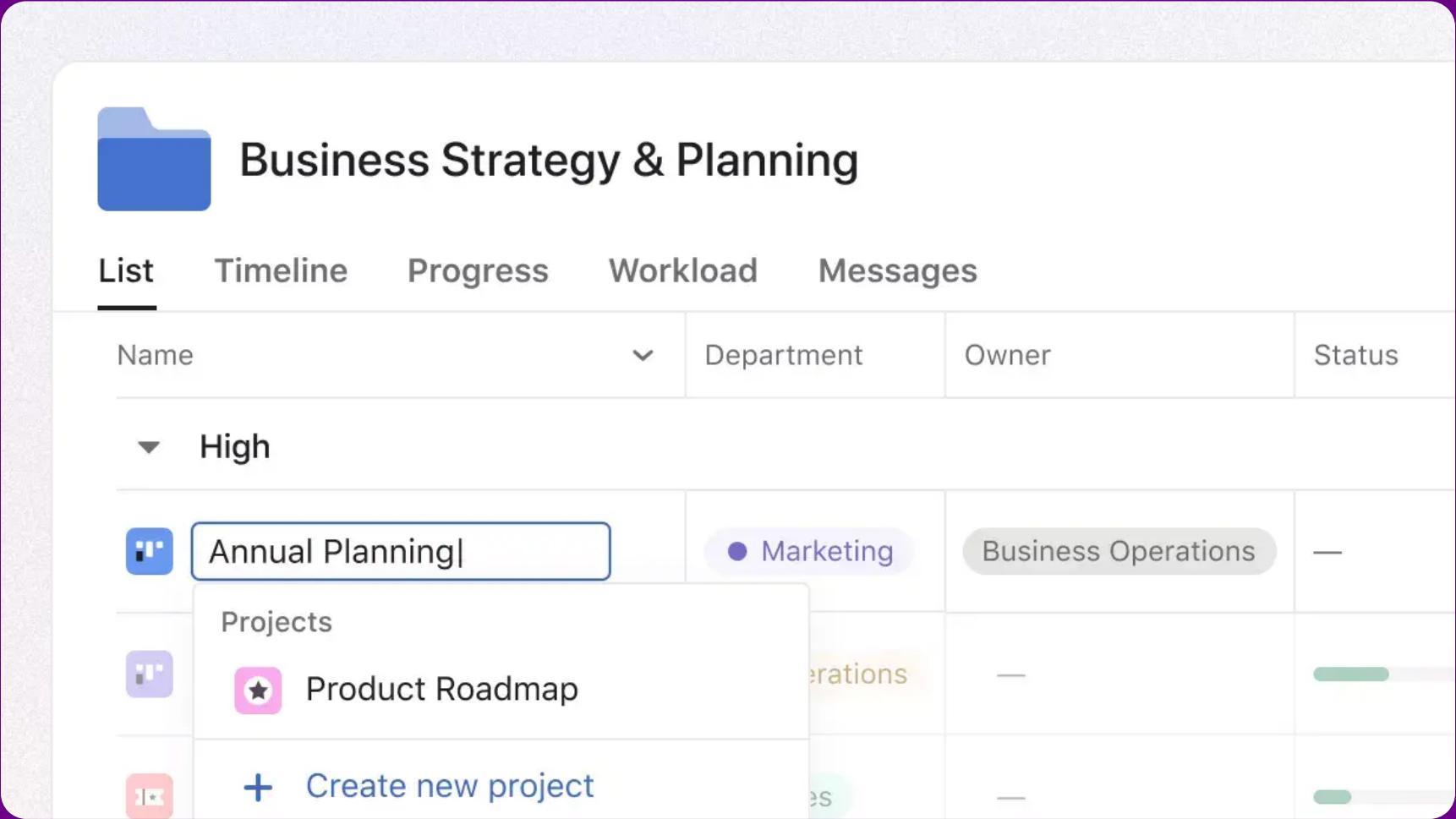
戦略プランニングと ポートフォリオ管理



戦略プランニングとポートフォリオ管理

[詳しく見る →](#)

- ✔ **ポートフォリオタイムラインの改善**
ポートフォリオタイムラインを活用して長期的な取り組みを計画通りに進めます。
- ✔ **ポートフォリオルールの手動トリガー**
ポートフォリオルールの実行タイミングをコントロールします。



ポートフォリオタイムラインを活用して 長期的な取り組みを計画通りに進める

リソース →



概要

ポートフォリオのタイムラインに右ウィンドウが追加され、プロジェクトの詳細を素早く確認できるようになりました。また、タイムラインビューでは、ネストされたポートフォリオの表示が可能になったため、複雑に階層化された仕事でも管理しやすくなりました。



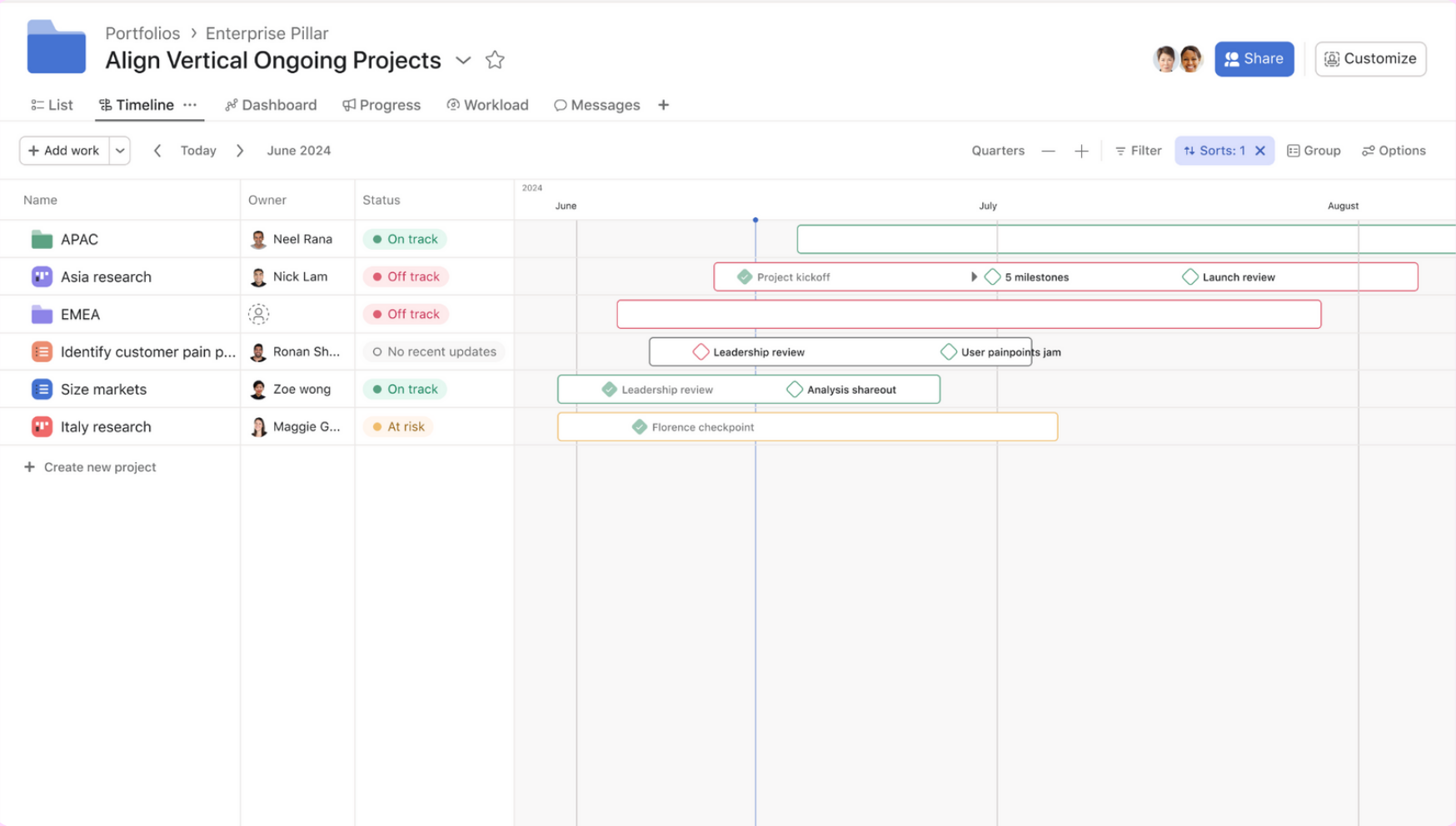
主なメリット

- タイムラインから離れずに、プロジェクト情報をすばやく確認できる。
- ネストされたポートフォリオを 1 つのビューで視覚化し、管理できる。
- ステータスとコンテキストをリアルタイムで確認できるため、よりスピーディに意思決定を行える。



主なユースケース

- ポートフォリオマネジメント
- 戦略プランニング
- プログラムマネジメント



機能の使い方

タイムラインビューで任意のアイテムをクリックすると、右ウィンドウが開き、その中にプロジェクトの詳細が表示されます。ネストされたポートフォリオがタイムラインに直接表示されるようになったため、仕事のつながりをより明確に確認できます。

手動トリガーで、ポートフォリオのルールの実行タイミングをコントロール

リソース →



概要

ルールの手動トリガーを使用することで、ポートフォリオのワークフローをより細かくコントロールできます。自動トリガーに頼らなくても、適切なタイミングで必要なアクションを実行できます。



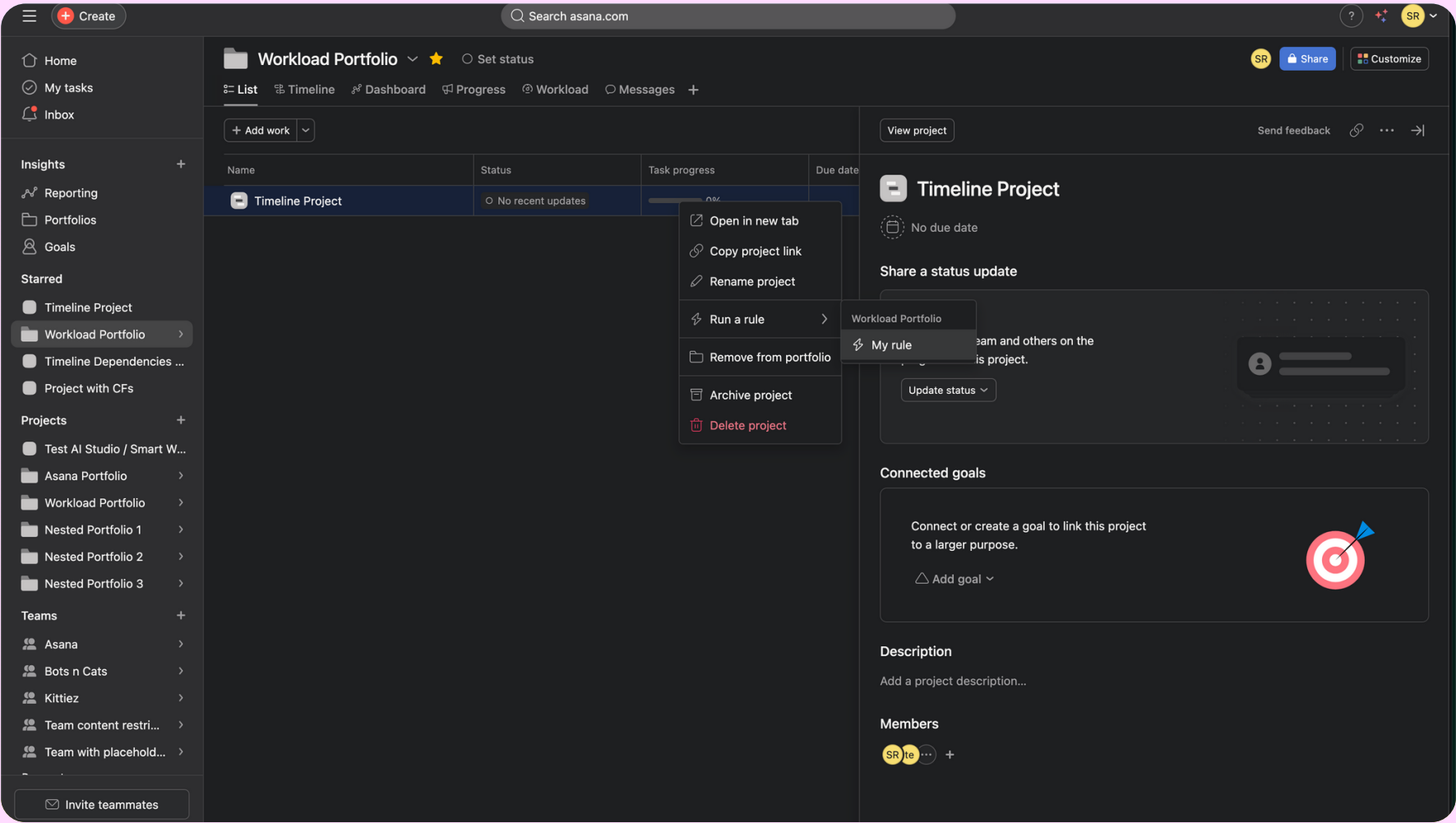
主なメリット

- ルールを手動でトリガーすることにより、必要なタイミングでオートメーションを確実に起動できる。
- 主要なマイルストーンに到達したタイミングでアクションをトリガーすることで、複雑なワークフローを簡素化できる。
- 自動トリガーを使用しないことで、予想外のアクティビティが発生することを防げる。



主なユースケース

- 戦略プランニング
- ポートフォリオマネジメント



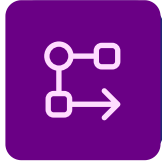
機能の使い方

ポートフォリオでルールビルダーを開き、手動トリガーを選択します。必要なアクションを設定してから、ポートフォリオアイテムを選択して、手動でトリガーを起動することで、ルールを実行します。

2025年春季リリース

チームのオンボーディングと 能力開発





チームのオンボーディングと能力開発

[リソース →](#)



チームナレッジ

オンボーディングをすばやく進め、社内用語を明確にします。



Welcome, Marie



I recommend joining these goals, teams, and projects based on your role.



Goals



Teams



Projects



チームナレッジを活用してオンボーディングを加速し社内用語を明確にする

リソース →



概要

チームナレッジを使用すると、Asana で社内用語、略語、専門用語を定義および管理できます。ホバーカードを使って各用語の定義を簡単に確認できるほか、AI も組織内のコンテキストを把握して、より適切な働きができるようになります。



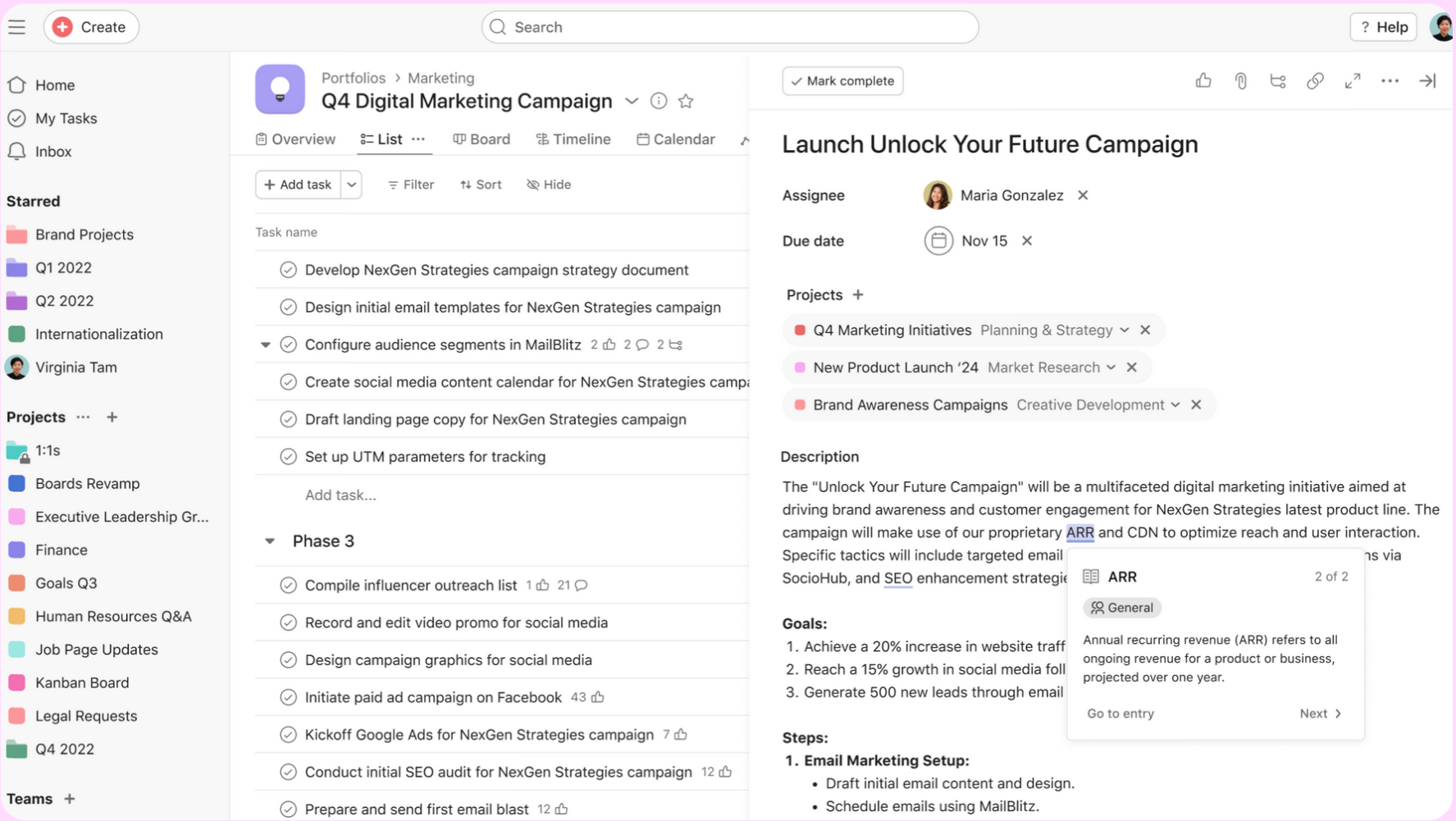
主なメリット

- 社内用語をわかりやすくすることで、新しいチームメイトのオンボーディングをすばやく進めることができる。
- 各用語を組織に合ったかたちで定義することで、AI の精度を高めることができる。
- 重要な用語の意味を共通認識することで、コラボレーションを強化できる。



主なユースケース

- 新規採用者のオンボーディング
- 技術文書



機能の使い方

チームページ上のチームナレッジタブで、用語の作成や管理を行います。Asana の使用中に定義済みの用語に遭遇した場合は、それにカーソルを合わせるだけで、その定義を確認できます。また、AI 機能による回答には、そうした用語が自動的に使用されます。

2025年春季リリース

企業向けのセキュリティと コントロール



企業向けのセキュリティとコントロール

[リソース →](#)



ワークアクセスモード

移行期間中でもデータにアクセスできるようにして、ビジネスを継続させます。

Authentication

Google sign-in

Let members sign in with a Google account

Optional >

SAML authentication

Required >

Two-factor authentication

Required >

Session duration

Log out after 14 days >

ワークアクセスモードで移行期間中もデータにアクセスして ビジネスを継続させる

リソース →



概要

ワークアクセスモードを使用すると、特権管理者は一時的に、管理者コンソールから非公開のタスク、プロジェクト、ポートフォリオにアクセスできるようになります。これにより、従業員の異動時にも、カスタマーサポートによるサポートを受けずに、ビジネスを継続させることができます。



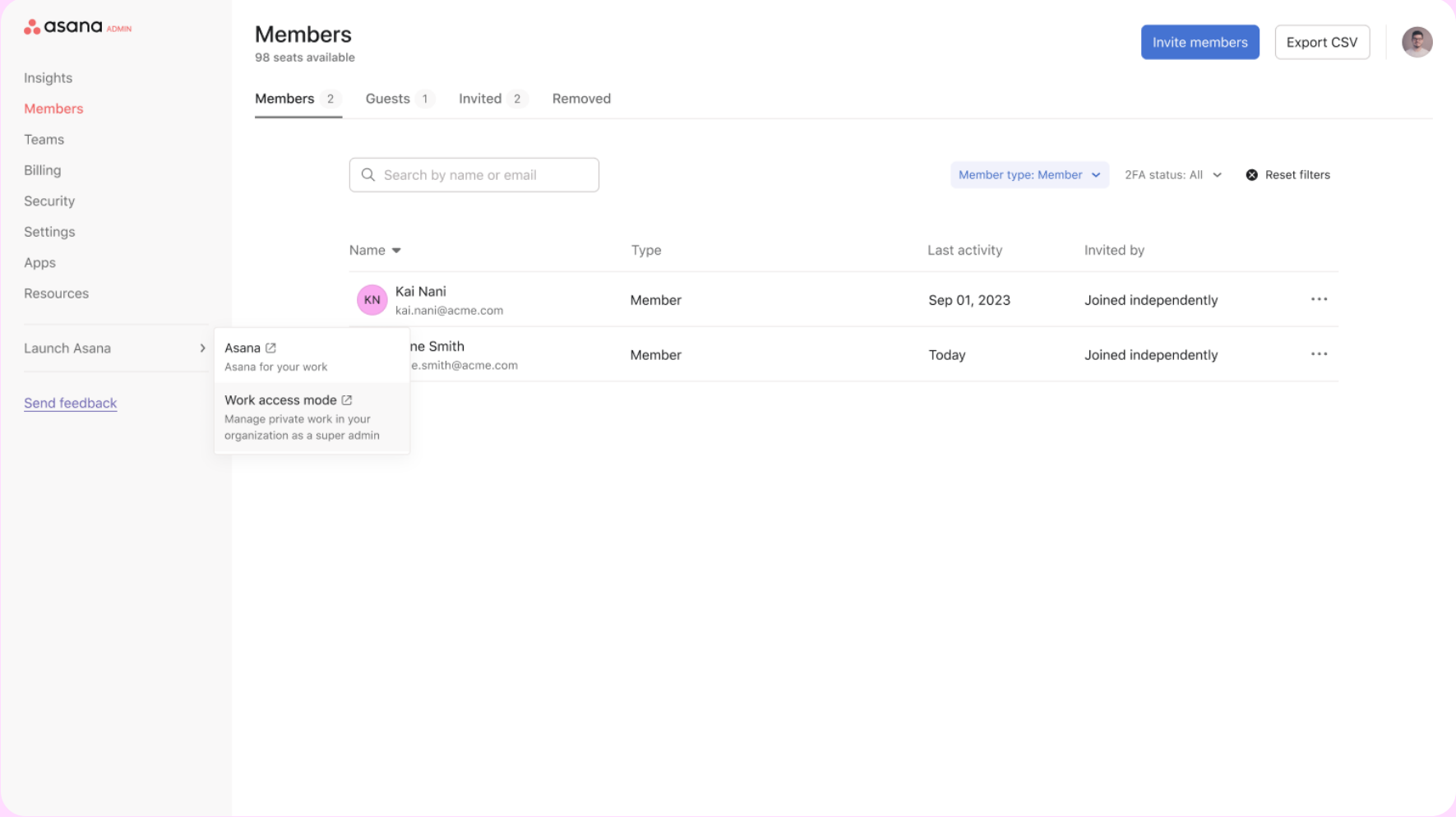
主なメリット

- 非公開の仕事へのアクセスを復元して、ビジネスを継続させることができる。
- 管理者に期間限定で、コントロールされたアクセス権を持たせることで、セキュリティを強化できる。
- 管理者がセルフサービス型のツールを使用できるようにすることで、サポートへの依存を軽減できる。



主なユースケース

- 従業員の退職手続き
- 役割の変更やチームの再編
- 長期休暇



機能の使い方

特権管理者は、管理者コンソールからワークアクセスモードを起動し、無効化されたユーザーを含む、各ユーザーの業務の検索とアクセスが可能になります。セッションは 30 分間続き、必要に応じて延長できます。